

「郷土を愛し、未来を創る人づくり」のための  
自己点検・評価報告書

令和7年3月

御前崎市教育委員会

#### 〈参考〉地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

**第二十六条** 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(幼保連携型認定こども園に関する意見聴取)

**第二十七条** 地方公共団体の長は、当該地方公共団体が設置する幼保連携型認定こども園に関する事務のうち、幼保連携型認定こども園における教育課程に関する基本的事項の策定その他の当該地方公共団体の教育委員会の権限に属する事務と密接な関連を有するものとして当該地方公共団体の規則で定めるものの実施に当たっては、当該教育委員会の意見を聴かなければならない。

(教育委員会の意見聴取)

**第二十九条** 地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合においては、教育委員会の意見をきかなければならない。

## 目 次

|                                               |    |
|-----------------------------------------------|----|
| I はじめに .....                                  | 1  |
| II 点検・評価について .....                            | 2  |
| III 重点取組 .....                                | 3  |
| IV 御前崎市教育委員会自己点検及び評価 .....                    | 10 |
| ・ 5-1-1 スクラムによる市全体の教育力の向上 .....               | 10 |
| ・ 5-1-2 人としての根を養うための、<br>市の特徴を生かした教育の推進 ..... | 12 |
| ・ 5-2-1 生きていく力の基礎の育成 .....                    | 16 |
| ・ 5-2-2 変化の激しい今後の社会を生き抜くための<br>資質・能力の育成 ..... | 19 |
| ・ 5-2-3 子どもたちが可能性に挑戦できる教育環境の整備 .....          | 23 |
| ・ 5-2-4 子どもたちの心と体を支える<br>安全で魅力ある学校給食の提供 ..... | 25 |
| ・ 5-3-1 笑顔でつながる学びの輪の醸成 .....                  | 26 |
| ・ 5-3-2 市民の豊かな心を育み、暮らしに寄り添う図書館づくり .....       | 27 |
| ・ 5-3-3 心身ともに健康な市民を目指したスポーツの振興 .....          | 29 |
| ・ 5-3-4 文化・芸術の継承と振興及び文化財の保護と活用 .....          | 31 |
| V 令和 6 年度教育委員会の活動 .....                       | 34 |
| VI 総合評価 .....                                 | 36 |



## I はじめに

御前崎市教育委員会では、第2次御前崎市総合計画の教育文化分野の基本目標「郷土を愛し 未来を創る 人づくり」に基づき、御前崎市教育大綱及び御前崎市教育振興基本計画の基本方針である「園・学校、家庭、地域、産業界、各団体、行政等がスクラムを組み、協働することによって、1 思いやりがあって互いを認め合うことができ、たくましくしなやかな子どもが育つ 2 生涯にわたってともに学び続け、互いに高め合う市民が育つ」ための教育行政を展開しています。そして、その年度の主要施策及び取組について、当市の教育を説明する『スクラム御前崎』の中で示しています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条では、教育行政の効果的推進及び市民への説明責任を果たすために、「教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行う」ことを義務付けています。

このことを受けて、教育委員会では令和6年度『スクラム御前崎』で示した主要施策及び取組の自己点検及び評価を行い、その客観性を確保するため、市内の学識経験者4名から意見をいただき、第三者的立場から常葉大学教育学部 堀井啓幸教授に外部評価をお願いし、検証したものを報告書として取りまとめました。

今回の点検及び評価を令和7年度の施策に活かし、基本目標の達成のためにそれぞれの取組を推進してまいります。

令和7年3月

御前崎市教育委員会  
教育長 吉村紳治郎

## Ⅱ 点検・評価について

### 1. 趣 旨

御前崎市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業の取組状況について、政策効果を把握し、その必要性・効率性等の観点から、自ら点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、この点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、市議会に提出するとともに一般に公表することにより、市民に対する説明責任を果たし、信頼される教育行政を推進しようとするものです。

### 2. 点検・評価の対象

点検及び評価は、令和 6 年度「スクラム御前崎」に沿って、本年度における教育委員会の主要な施策・事業を対象として実施いたしました。このため、スクラム御前崎 P. 1 の「重点取組」として掲げた 15 の施策とそれに伴う事業について評価を行っています。

### 3. 点検・評価の方法

点検及び評価の実施にあたっては、令和 6 年度の事業について、その進捗状況を総括するとともに、内部評価を行うことにより課題や今後の取組みの方向性を明らかにし、その結果を外部評価として、元教育委員 増田 美恵子 氏、元園長 渡辺 和子 氏、民間企業代表 植田 浩行 氏、元教員の齋藤 剛氏の御意見や、常葉大学教育学部教授 堀井 啓幸 氏に総合評価を頂くことにより、教育に関する学識経験者の知見活用に努めました。

### 4. 点検・評価の表し方

点検及び評価については、本年度執行予定の事業を、本年度 3 月末までにどれだけ実行できたかを「執行度」として 0～100% で表しました。また、その事業自体の「妥当性」「効果性」「効率性」をそれぞれ、1「非常に低い」、2「低い」、3「どちらともいえない」、4「高い」、5「非常に高い」の 5 段階で表しました。「妥当性」とは、「第 2 次御前崎市総合計画 2016～2025」に掲げた目標達成のために、その事業自体がどれほど妥当かを評価しています。「効果性」とは、実際に事業を進めた結果、得た効果について評価しています。「効率性」とは、コスト面・人員面において費用対効果がどれほどかを評価しています。

実施できなかった事業については、「－」で表しています。

### Ⅲ 重点取組

今回教育委員会の自己点検・評価についての報告書をまとめるにあたり、令和6年度重点取組として掲げた目標に対する評価をまとめました。本年度執行予定の事業を、本年度3月末までにどれだけ遂行できたかを「執行度」として0～100%で表しています。

|                         |            |
|-------------------------|------------|
| ◎点検・評価について              | ◎今後の方向について |
| ○妥当性 5・・・非常に高い          | ①継続        |
| 〃 4・・・高い                | ②完了        |
| 〃 3・・・どちらともいえない         | ③拡大        |
| 〃 2・・・低い                | ④縮小        |
| 〃 1・・・非常に低い             | ⑤転換        |
| ○効果性・効率性も上記に準じて評価しています。 | ⑥中止        |

#### 1. 生活習慣（学習習慣）の定着

御前崎市スクラム・スクール運営協議会を年間2回実施した。地域代表、保護者代表、学校職員、行政職員が子どもをとりまく諸課題について協議をする機会となった。

各小中学校では学校運営協議会を年間2～3回実施した。校長の学校経営方針に基づき、家庭・地域が学校の教育活動に参画する基盤を築くことができた。

市青少年健全育成会議では、市スクラム・スクール運営協議会と掲げる目標を同じくし、「早寝早起き朝ごはん」「電子メディアとの主体的・自律的な関わり」を重点取組として、各地域へ意識啓発を行った。本年度のスクラム御前崎の集いは、11月の子供・若者育成支援強調月間に合わせ、県大会を招聘し、青少年健全育成及び子供・若者育成支援運動の機運を高めた。

| 事業                    | 執行度 | 事業の妥当性 | 効果性 | 効率性(コスト) | 効率性(人員) | 今後の方向 |
|-----------------------|-----|--------|-----|----------|---------|-------|
| スクラム・スクール運営協議会        | 100 | 5      | 5   | 5        | 5       | 継続    |
| 各学校スクラム・スクール運営協議会の実施  | 100 | 5      | 5   | 5        | 5       | 継続    |
| 家庭教育支援の推進             | 100 | 5      | 5   | 5        | 5       | 継続    |
| 市青少年健全育成会議・地区推進委員会の開催 | 100 | 5      | 5   | 4        | 4       | 継続    |
| 「スクラム御前崎の集い」の開催       | 100 | 5      | 5   | 4        | 4       | 継続    |
| 平均                    | 100 | 5      | 5   | 4.6      | 4.6     |       |

#### 2. 市の特色を活かした教育や体験による愛郷心の育成

「御前崎クエスト」では、子どもから大人まで学び続けられる、学びのサイクルができ、プログラム内では、自然体験や地域資源を生かした活動を通じて、地域愛の醸成が出来ている。

学校では地域と連携した学習の一環として、小中学校の理科や社会科の学習において、中部電力株式会社の職員をゲストティーチャーとして招き、出前講座を実施した。その中で、発電のしくみやエネルギーミックスについて考える機会となった。知識のみを獲得する学習ではなく、あくまでも教科の資質・能力の獲得につながる内容となるよう工夫が必要となる。

| 事業                                | 執行度 | 事業の妥当性 | 効果性 | 効率性(コスト) | 効率性(人員) | 今後の方向 |
|-----------------------------------|-----|--------|-----|----------|---------|-------|
| 青少年体験事業「御前崎クエスト」                  | 100 | 5      | 5   | 4        | 5       | 継続    |
| エネルギー教育の推進                        | 100 | 4      | 4   | 4        | 4       | 継続    |
| 地域教材(社会科副読本)の活用(R4改訂実施済・次回R8改訂予定) | 100 | 5      | 5   | 5        | 5       | 継続    |
| 平均                                | 100 | 4.7    | 4.7 | 4.3      | 4.7     |       |

### 3. 読書・読み聞かせの推進

年2回の学校図書館連絡会では、各校の取組について共有したり、静岡県子ども読書アドバイザーの水野祥子氏を招き、「学校図書館の現状・活用についての紹介」についての講話を聞いたりした。読書活動の推進について理解を深めながら、取り組むことができた。

市立図書館は、継続して読み聞かせや巡回貸出、学校への団体貸出等、第2次御前崎市子ども読書活動推進計画に沿った取り組みを行い、子どもたちが読書に親しむ機会を提供できた。館内においても特集コーナーの設置やホームページのブックリストの更新などを積極的に行い、読書推進を図った。ボランティアグループによる月2回のおはなし会も定着してきた。

| 事業                 | 執行度 | 事業の<br>妥当性 | 効果性 | 効率性<br>(コスト) | 効率性<br>(人員) | 今後の<br>方向 |
|--------------------|-----|------------|-----|--------------|-------------|-----------|
| 園の読書環境の整備          | 100 | 5          | 5   | 5            | 5           | 継続        |
| 学校における読書活動の推進      | 100 | 5          | 5   | 5            | 5           | 継続        |
| 市立図書館と学校図書館の連携     | 100 | 5          | 5   | 5            | 5           | 継続        |
| 読み聞かせなどのボランティアとの協働 | 100 | 5          | 5   | 5            | 5           | 継続        |
| 子どものための読書環境の整備     | 100 | 5          | 5   | 4            | 4           | 継続        |
| 市立図書館の充実した資料収集     | 100 | 5          | 4   | 4            | 3           | 継続        |
| 平均                 | 100 | 5          | 4.8 | 4.7          | 4.5         |           |

### 4. 乳幼児の保育・教育の充実と円滑な園小接続

子どもたちの興味や関心、育ちを捉え、主体的な遊びや体験を積み重ねていくために、素材や玩具の選定や配置、今日から明日へつなぐ遊びや活動のしかけなど各園、各自が研修を通し学び、工夫しながら取り組むことができた。上智大学奈須正裕教授を招聘し御前崎こども園にて研修を行った。遊びの中で生まれた様々な事象に保育者自身が対応できるようスキルを身につけることや教材研究の大切さ、そして見通しをもった取り組みの必要性も更なる保育の質の向上の為に必要であることを学んだ。

| 事業                  | 執行度 | 事業の<br>妥当性 | 効果性 | 効率性<br>(コスト) | 効率性<br>(人員) | 今後の<br>方向 |
|---------------------|-----|------------|-----|--------------|-------------|-----------|
| 主体的な遊びや体験を充実させる環境作り | 100 | 5          | 5   | 5            | 5           | 継続        |
| 教諭・保育士対象各種研修会の実施    | 100 | 5          | 5   | 4            | 4           | 継続        |
| スクラム研究会の実施          | 100 | 5          | 5   | 5            | 5           | 継続        |
| 平均                  | 100 | 5          | 5   | 4.7          | 4.7         |           |



## 5. 家庭教育支援の充実

家庭教育支援員を増員し、あそび塾の活動内容を検討、家庭教育が学べる場として、充実を図った。  
 アプローチ・スタートアップブックは、家庭教育で大切にしてほしい「早寝早起き朝ごはん」や「ネット依存・ゲーム障害」などスクラムの取り組みについても掲載しているため、市が一体となって取り組んでいることについて伝えることができた。また、学校教育課とこども未来課と園で連携を図りながら、園訪問や療育教室を通して、子ども理解と、個に寄り添う支援を行うことができた。

| 事業                  | 執行度 | 事業の<br>妥当性 | 効果性 | 効率性<br>(コスト) | 効率性<br>(人員) | 今後の<br>方向 |
|---------------------|-----|------------|-----|--------------|-------------|-----------|
| 家庭教育支援の推進【再掲(1)】    | 100 | 5          | 5   | 5            | 5           | 継続        |
| 家庭教育学級への支援          | 100 | 5          | 5   | 5            | 4           | 継続        |
| 家庭教育支援員の配置          | 100 | 5          | 5   | 5            | 5           | 継続        |
| アプローチ・スタートアップブックの活用 | 100 | 5          | 5   | 3            | 5           | 継続        |
| 療育指導員による療育の推進と充実    | 100 | 5          | 5   | 5            | 4           | 継続        |
| 平均                  | 100 | 5          | 5   | 4.6          | 4.6         |           |

## 6. 互いの人権を尊重し、思いやりを大切にせる教育への取組

適応指導教室「サンルーム」も、学校での集団生活等に不安を抱える児童生徒が利用をし、自分のペースで学習したり、他の児童生徒や指導員とコミュニケーションをとったりする居場所となっている。利用する児童生徒の中には、学校への登校とサンルームへの登校を併用する利用者もいる。

いじめ問題について各校の現状の情報共有をした。また、事例をもとにいじめの認知について検討し、その対応の在り方について共通理解を図る機会となった。

| 事業               | 執行度 | 事業の<br>妥当性 | 効果性 | 効率性<br>(コスト) | 効率性<br>(人員) | 今後の<br>方向 |
|------------------|-----|------------|-----|--------------|-------------|-----------|
| 各校での指導の実施        | 100 | 5          | 5   | 5            | 5           | 継続        |
| 「しおかぜ先生」の配置      | 100 | 5          | 5   | 4            | 4           | 継続        |
| いじめ問題対策連絡協議会の開催  | 100 | 5          | 5   | 5            | 5           | 継続        |
| 適応指導教室「サンルーム」の運営 | 100 | 5          | 4   | 5            | 5           | 継続        |
| 平均               | 100 | 5          | 4.8 | 4.8          | 4.8         |           |

## 7. 探究的な学び・協働的な学びの深化

上智大学奈須正裕教授を招聘し、市内各校で公開授業・研修会を実施した。国の中央教育審議会の委員でもある奈須教授に授業を参観していただき、直接指導いただくことで、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的推進」や「自立した学び手の育成」について理解を深めることができた。

外国語教育は、ALTや専科教員がいることで、子どもたちが生の英語に触れ、意欲的に英語を活用しながら楽しく学習できている。また、休み時間や学校行事等でも子どもたちと積極的に関わり、子どもたちにとっても大変有益であった。

| 事業                            | 執行度 | 事業の<br>妥当性 | 効果性 | 効率性<br>(コスト) | 効率性<br>(人員) | 今後の<br>方向 |
|-------------------------------|-----|------------|-----|--------------|-------------|-----------|
| 市独自の学力調査の実施、分析と活用をもとにした各校での指導 | 100 | 5          | 5   | 5            | 5           | 継続        |
| スクラムゼミナールの実施                  | 100 | 5          | 5   | 5            | 5           | 継続        |
| 教職員対象各研修会の実施                  | 100 | 5          | 5   | 5            | 5           | 継続        |
| 外国語指導助手(ALT)の配置               | 100 | 5          | 5   | 5            | 5           | 継続        |
| 学習支援員等の配置                     | 100 | 5          | 5   | 4            | 3           | 継続        |
| 平均                            | 100 | 5          | 5   | 4.8          | 4.6         |           |

## 8. ICT等の活用による新しい学びの展開

国のGIGAスクール構想4年目となり、授業における端末やクラウドの活用に加え、校務のDX化が前進した。特に、個の学びを充実させるためのツールとしてGIGA端末活用が充実しつつある。また、各校へのICT支援員配置や授業支援ソフトウェア活用により、子どもの学びの幅や校務DX化が広がっている。活用にあたり、インターネットリテラシーや情報モラルを含めた情報活用能力の向上が、これまで以上に重要である。本年度は、各校1回ずつの情報モラル教育を実施及び年間を通じた中学校のネットパトロールを業務委託により行った。毎月2回のネットパトロールの報告では、個人情報等がわかる形で公開されているような事案は減少している。個人情報等の意識は高まっていると考えられる。

| 事業          | 執行度 | 事業の<br>妥当性 | 効果性 | 効率性<br>(コスト) | 効率性<br>(人員) | 今後の<br>方向 |
|-------------|-----|------------|-----|--------------|-------------|-----------|
| 情報モラル学習の推進  | 100 | 5          | 5   | 5            | 5           | 継続        |
| ICT支援員の配置   | 100 | 5          | 5   | 5            | 5           | 継続        |
| デジタル教材の活用   | 100 | 5          | 5   | 5            | 5           | 継続        |
| 学校のICT環境の充実 | 100 | 5          | 5   | 4            | 5           | 継続        |
| 平均          | 100 | 5          | 5   | 4.8          | 5           |           |

※GIGAスクール構想 特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現すること。また、これまでの教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出すこと。

※DX デジタルトランスフォーメーションの略称表記。ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること(出典 総務省サイトより)

※インターネットリテラシー インターネットを正しく使いこなすための知識や能力。(出典 小学館 日本大百科全書(ニッポニカ) ネットリテラシーより)

## 9. 健康教育を通じた体力の向上と健やかな体づくり

市内小中学校の児童生徒の運動能力や運動習慣等を客観的に捉える機会となった。市で取り組んでいる「早寝早起き朝ごはん」との関連も分析することができるため、生活習慣の改善等の啓発にもつながられた。

また、振興公社が行うスポーツ教室や、スポーツ推進委員が企画する大会などを通じて、市民にスポーツ振興と健康推進につながる機会の提供ができた。

| 事業                                 | 執行度 | 事業の妥当性 | 効果性 | 効率性<br>(コスト) | 効率性<br>(人員) | 今後の方向 |
|------------------------------------|-----|--------|-----|--------------|-------------|-------|
| 全国体力運動能力・運動習慣等調査の分析と活用をもとにした各校での指導 | 100 | 5      | 5   | 5            | 5           | 継続    |
| 健康に関する意識の向上                        | 100 | 4      | 4   | 4            | 4           | 継続    |
| 食育指導の推進                            | 100 | 4      | 4   | 4            | 4           | 継続    |
| 平均                                 | 100 | 4.3    | 4.3 | 4.3          | 4.3         |       |

## 10. 特別な支援を必要とする児童生徒への教育の充実

就学支援委員会を年4回実施し、特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、進路を見据えて適切な学びの場について審議することができた。新学齢児の就学支援についても、園担当の指導主事や園、学校が連携をとり、見通しを持った丁寧な就学支援を進めることができた。

| 事業                          | 執行度 | 事業の妥当性 | 効果性 | 効率性<br>(コスト) | 効率性<br>(人員) | 今後の方向 |
|-----------------------------|-----|--------|-----|--------------|-------------|-------|
| 個性伸長支援員の配置                  | 95  | 5      | 5   | 5            | 4           | 継続    |
| 療育指導員による療育の推進と充実【再掲(5)】     | 100 | 5      | 5   | 5            | 4           | 継続    |
| 学習支援員等の配置【再掲(7)】            | 100 | 5      | 5   | 4            | 3           | 継続    |
| 就学支援委員会、個性伸長支援教育専門家チーム会議の実施 | 100 | 5      | 5   | 5            | 5           | 継続    |
| 令和7年度中学校通級指導教室開設への準備        | 100 | 5      | 5   | 5            | 5           | 継続    |
| 平均                          | 99  | 5      | 5   | 4.8          | 4.2         |       |

## 11. 部活動の地域移行の検討

本市の地域移行の基盤となる御前崎市地域クラブと既存団体を併用した「御前崎モデル」を提唱した。これらに係る競技団体と協議を重ね、地域移行の在り方や今後の方向性を検討した。また、市民に対して、新入生説明会や広報おまえざき等で周知を行った。さらに、近隣市と定期的に協議会を実施したり、関係機関との連携強化を進めた。

| 事業          | 執行度 | 事業の妥当性 | 効果性 | 効率性<br>(コスト) | 効率性<br>(人員) | 今後の方向 |
|-------------|-----|--------|-----|--------------|-------------|-------|
| 部活動検討委員会の開催 | 100 | 5      | 3   | 3            | 2           | 継続    |
| 平均          | 100 | 5      | 3   | 3            | 2           |       |

## 12. 学校の再編についての検討

市学校再編計画案について、地域や学校の情報収集に努め、検討準備を行っている。今後も将来の御前崎市を考えつつ慎重に検討し、市民等へ丁寧な説明をしながら計画を策定していく。

| 事業        | 執行度 | 事業の妥当性 | 効果性 | 効率性(コスト) | 効率性(人員) | 今後の方向 |
|-----------|-----|--------|-----|----------|---------|-------|
| 学校再編計画の検討 | 100 | 5      | 3   | 5        | 5       | 継続    |
| 平均        | 100 | 5      | 3   | 5        | 5       |       |

## 13. ライフステージごとの学びの提供

ライフステージごとの学びの姿と場を示す「学びの航海図」、生涯学習講座をまとめたガイドブックを作成し、市民が生涯学び続けることが出来る「学びの循環」が出来ている。社会教育学級への支援は、活動の一助となっている。

シニアスクールは、浜岡スクール39人、御前崎スクール31人、合計70人が参加をした。講座の中では、小中学生との交流の機会もあり、シニアと子どもたちがつながりを感じる機会となった。

| 事業                          | 執行度 | 事業の妥当性 | 効果性 | 効率性(コスト) | 効率性(人員) | 今後の方向 |
|-----------------------------|-----|--------|-----|----------|---------|-------|
| 「おまえざき学びの航海図」の活用と生涯学習講座等の充実 | 100 | 5      | 5   | 4        | 4       | 継続    |
| 「学びの循環」の仕組みづくりの推進           | 100 | 5      | 5   | 4        | 4       | 継続    |
| 社会教育学級活動への支援                | 100 | 5      | 5   | 4        | 4       | 継続    |
| シニアスクールの実施                  | 100 | 4      | 4   | 4        | 4       | 継続    |
| 平均                          | 100 | 4.8    | 4.8 | 4        | 4       |       |

## 14. 生きがいや潤いをもたらす文化・スポーツの振興

市振興公社の各種教室、スポーツ推進委員やスポーツ協会と協力して開催するスポーツ教室・大会を通し、スポーツの普及、誰でも楽しみながら気軽にスポーツをする環境を提供することができた。

市文化協会と連携し、様々な団体や個人の文化活動を披露する文化祭を開催した。また新たな試みとして体験ブースの出展をし、市内の文化振興に寄与することができた。

図書館では、勉強会や作品展示の利用により、年間を通じて図書館施設が市民の学びや文化活動発表の場として活用された。文化事業についてはやむを得ず中止した催しがあるが、新たに継続的に提供できる事業として、所蔵している視聴覚資料を活用して映画上映会を開催した。

| 事業                      | 執行度 | 事業の妥当性 | 効果性 | 効率性(コスト) | 効率性(人員) | 今後の方向 |
|-------------------------|-----|--------|-----|----------|---------|-------|
| 市振興公社との連携によるスポーツ及び文化の振興 | 100 | 5      | 4   | 4        | 4       | 継続    |
| 軽スポーツ教室・大会の開催           | 100 | 5      | 4   | 4        | 4       | 継続    |
| スポーツ協会、文化協会との連携         | 100 | 4      | 4   | 4        | 4       | 継続    |
| 市文化祭の開催                 | 100 | 5      | 5   | 4        | 4       | 継続    |
| 図書館での展示や講演会など文化事業の開催    | 95  | 5      | 4   | 5        | 3       | 継続    |
| 平均                      | 99  | 4.8    | 4.2 | 4.2      | 3.8     |       |

## 15. 教職員の働き方改革の推進

勤怠管理システムにより勤務時間の管理を行う中で、時間外勤務の解消のためにできる業務改善に取り組んでいる。欠席連絡用アプリの導入により、朝の電話対応が解消され、子どもたちと向き合う時間の確保につながっている。

| 事業                           | 執行度 | 事業の<br>妥当性 | 効果性 | 効率性<br>(コスト) | 効率性<br>(人員) | 今後の<br>方向 |
|------------------------------|-----|------------|-----|--------------|-------------|-----------|
| 県教育委員会「学校の働き方改革推進プロジェクト」との連携 | 100 | 5          | 5   | 4            | 4           | 継続        |
| 各園・学校への調査                    | 100 | 5          | 5   | 4            | 4           | 継続        |
| 各園・学校での取組への支援                | 100 | 5          | 5   | 4            | 4           | 継続        |
| 平均                           | 100 | 5          | 5   | 4            | 4           |           |

#### Ⅳ 御前崎市教育委員会の自己点検及び評価

重点取組の点検・評価した施策についての具体的な事業を自己点検評価シートにまとめました。

本年度執行予定の事業を、本年度3月末までにどれだけ遂行できたかを「執行度」として0～100%で表しています。

|                         |            |
|-------------------------|------------|
| ◎点検・評価について              | ◎今後の方向について |
| ○妥当性 5・・・非常に高い          | ①継続        |
| 〃 4・・・高い                | ②完了        |
| 〃 3・・・どちらともいえない         | ③拡大        |
| 〃 2・・・低い                | ④縮小        |
| 〃 1・・・非常に低い             | ⑤転換        |
| ○効果性・効率性も上記に準じて評価しています。 | ⑥中止        |

##### 5-1-1 スクラムによる市全体の教育力の向上

| 事業                           | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ ( 評 価 ) |   | 今後の方向 |                                                                                                                             |
|------------------------------|------|------|---------------|---|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 総合教育会議・移動教育委員会の実施<br>(教育総務課) | —    | 100% | 事業の妥当性        | 5 | ①継続   | <p>教育行政の重要施策について引き続き検討を重ねるとともに、教育振興基本計画及び教育大綱の見直しの必要があるため、総合教育会議は継続する。</p> <p>また、教育委員が各現場の意見を聞く直接の機会となっている移動教育委員会も継続する。</p> |
|                              |      |      | 効果性           | 4 |       |                                                                                                                             |
|                              |      |      | 効率性(コスト)      | 5 |       |                                                                                                                             |
|                              |      |      | 効率性(人員)       | 5 |       |                                                                                                                             |
| スクラム・スクール運営協議会の実施<br>(学校教育課) | 1    | 100% | 事業の妥当性        | 5 | ①継続   | <p>学校・家庭・地域の連携は今後より重要視されるため、本市においてもスクラム・スクール運営協議会を軸に、連携を推進する。</p>                                                           |
|                              |      |      | 効果性           | 5 |       |                                                                                                                             |
|                              |      |      | 効率性(コスト)      | 5 |       |                                                                                                                             |
|                              |      |      | 効率性(人員)       | 5 |       |                                                                                                                             |
| シニアスクールの実施<br>(学校教育課)        | 13   | 100% | 事業の妥当性        | 4 | ①継続   | <p>参加者にとって満足度が高い取組であるため継続する。同時に子どもや学校にもメリットが感じられる取組となるよう工夫する。</p>                                                           |
|                              |      |      | 効果性           | 4 |       |                                                                                                                             |
|                              |      |      | 効率性(コスト)      | 4 |       |                                                                                                                             |
|                              |      |      | 効率性(人員)       | 4 |       |                                                                                                                             |

| 事業                                            | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ ( 評 価 ) |   | 今後の方向 |                                                                                |
|-----------------------------------------------|------|------|---------------|---|-------|--------------------------------------------------------------------------------|
| ウェブサイトなどによる広報活動の充実<br>(教育総務課・学校教育課・社会教育課・各学校) | —    | 100% | 事業の妥当性        | 5 | ①継続   | 市民が教育活動への理解を深め、協力や参加につながるよう、今後も情報を積極的に発信していく。引き続き、ウェブサイトやLINE等を活用した情報発信を行っていく。 |
|                                               |      |      | 効果性           | 4 |       |                                                                                |
|                                               |      |      | 効率性(コスト)      | 5 |       |                                                                                |
|                                               |      |      | 効率性(人員)       | 5 |       |                                                                                |

※Logoフォーム 自治体専用WEBフォーム作成ツールの電子申請システム。

|                      |    |      |          |   |     |                                                                           |
|----------------------|----|------|----------|---|-----|---------------------------------------------------------------------------|
| キャリア教育の充実<br>(学校教育課) | 13 | 100% | 事業の妥当性   | 5 | ①継続 | 子どもが自分の興味を広げたり、やりたいことを見つける機会をつくることのできるよう、地域の人材を活用しながら、職業観や生き方を学ぶ機会を設けていく。 |
|                      |    |      | 効果性      | 5 |     |                                                                           |
|                      |    |      | 効率性(コスト) | 5 |     |                                                                           |
|                      |    |      | 効率性(人員)  | 5 |     |                                                                           |

※CS コミュニティスクール(学校運営協議会制度)。学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる仕組み。

|                                      |   |      |          |   |     |                                                                                                             |
|--------------------------------------|---|------|----------|---|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 防災教育の推進<br>(学校教育課)                   | — | 100% | 事業の妥当性   | 5 | ①継続 | 起こりうる様々な状況を想定し、万が一に備えるよう、危機管理マニュアル等の見直しを常に図っていく。<br>また、地域防災訓練への参加や、ジュニア防災士など県の事業も取り入れながら、児童生徒の防災への意識を高めていく。 |
|                                      |   |      | 効果性      | 5 |     |                                                                                                             |
|                                      |   |      | 効率性(コスト) | 5 |     |                                                                                                             |
|                                      |   |      | 効率性(人員)  | 5 |     |                                                                                                             |
| 学校支援地域本部の実施<br>〔地域学校協働本部〕<br>(学校教育課) | — | 100% | 事業の妥当性   | 5 | ①継続 | 専門性の高い支援や、多人数による見守りなど、教職員だけでは難しいことを、ボランティアの支援により実現できているため、今後も地域との連携を推進する。                                   |
|                                      |   |      | 効果性      | 5 |     |                                                                                                             |
|                                      |   |      | 効率性(コスト) | 5 |     |                                                                                                             |
|                                      |   |      | 効率性(人員)  | 4 |     |                                                                                                             |

## 5-1-2 人としての根を養うための、市の特色を生かした教育の推進

| 事業                       | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ ( 評 価 ) |   | 今後の方向 |                                                                                                      |
|--------------------------|------|------|---------------|---|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 園の読書環境の整備<br>(学校教育課)     | 3    | 100% | 事業の妥当性        | 5 | ①継続   | 子どもたちが絵本に触れ、興味が持てる機会や読書環境の充実を継続していく。また、スマホやメディアの使用率が高まる現代において、親子の触れ合いのツールとしての読み聞かせの効果について引き続き発信していく。 |
|                          |      |      | 効果性           | 5 |       |                                                                                                      |
|                          |      |      | 効率性(コスト)      | 5 |       |                                                                                                      |
|                          |      |      | 効率性(人員)       | 5 |       |                                                                                                      |
| 学校における読書活動の推進<br>(学校教育課) | 3    | 100% | 事業の妥当性        | 5 | ①継続   | 学校図書館連絡会の内容については、図書館司書や図書担当のニーズに合わせて計画していく。また、学校間の情報共有が活発にできるよう、Chromebookのクラスルームを有効に活用していく。         |
|                          |      |      | 効果性           | 5 |       |                                                                                                      |
|                          |      |      | 効率性(コスト)      | 5 |       |                                                                                                      |
|                          |      |      | 効率性(人員)       | 5 |       |                                                                                                      |

※Chromebook

GoogleのChrome OSを搭載したコンピューター。Chrome OSとは、WindowsでもMacでもないGoogleが開発した独自OS。(株式会社日本HP公式サイトを参照)

|                                 |   |      |          |   |     |                                                                           |
|---------------------------------|---|------|----------|---|-----|---------------------------------------------------------------------------|
| 市立図書館と学校図書館との連携<br>(図書館・学校教育課)  | 3 | 100% | 事業の妥当性   | 5 | ①継続 | 学校と図書館がコミュニケーションを深め、引き続き子どもたちの読書環境整備のために協力して活動していく。                       |
|                                 |   |      | 効果性      | 5 |     |                                                                           |
|                                 |   |      | 効率性(コスト) | 5 |     |                                                                           |
|                                 |   |      | 効率性(人員)  | 5 |     |                                                                           |
| 市内各小学校における海洋スポーツ体験活動<br>(社会教育課) | 2 | 100% | 事業の妥当性   | 5 | ①継続 | 地元の海での体験活動は、将来の生き方についても考える場であると感じる。<br>今後も引き続き事業を継続し、地域の特性に触れる環境整備を行っていく。 |
|                                 |   |      | 効果性      | 5 |     |                                                                           |
|                                 |   |      | 効率性(コスト) | 4 |     |                                                                           |
|                                 |   |      | 効率性(人員)  | 4 |     |                                                                           |

※SUP

スタンドアップパドルボードの略。サーフボードより少し大きいボードの上に立ち、パドルを漕いで水面を進むスポーツ。



| 事業                             | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ ( 評 価 ) |   | 今後の方向 |                                                                                                                   |
|--------------------------------|------|------|---------------|---|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 青少年体験事業「御前崎クエスト」の実施<br>(社会教育課) | 2    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | ①継続   | 今後も地域資源を活かした事業による人材育成を継続する。<br>事業を継続して行うため、中学生の地域部活動としての参加者を取り入れるよう、事業の広報や周知徹底に努める。また、参加者により満足してもらうよう、活動内容など検討する。 |
|                                |      |      | 効果性           | 5 |       |                                                                                                                   |
|                                |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 4 |       |                                                                                                                   |
|                                |      |      | 効率性<br>(人員)   | 5 |       |                                                                                                                   |

※グローバル

グローバル(地球規模)とローカル(地域規模)を組み合わせた造語。地球規模の広い視野を持ちながら、地域に根差した視点で行動する考え方。御前崎クエストでのグローバルの活動は、中高生のグループ。

|                       |     |      |              |   |     |                                                                                                                           |
|-----------------------|-----|------|--------------|---|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| エネルギー教育の推進<br>(学校教育課) | 2   | 100% | 事業の<br>妥当性   | 4 | ①継続 | 原子力発電所所在地にある学校として地元企業の人材活用は有効であると考え、エネルギー需要は多岐に渡るため、活動内容を検討していく。                                                          |
|                       |     |      | 効果性          | 4 |     |                                                                                                                           |
|                       |     |      | 効率性<br>(コスト) | 5 |     |                                                                                                                           |
|                       |     |      | 効率性<br>(人員)  | 5 |     |                                                                                                                           |
| 家庭教育支援の推進<br>(学校教育課)  | 1・5 | 100% | 事業の<br>妥当性   | 5 | ①継続 | 子どもを支援する大人が共通理解のもと、子どもと関わるのが重要である。特に乳幼児期の子どもの関わりはその後的人格形成にも大きく関わるため家庭教育支援を継続する。                                           |
|                       |     |      | 効果性          | 5 |     |                                                                                                                           |
|                       |     |      | 効率性<br>(コスト) | 5 |     |                                                                                                                           |
|                       |     |      | 効率性<br>(人員)  | 5 |     |                                                                                                                           |
| 家庭教育学級への支援<br>(社会教育課) | 5   | 100% | 事業の<br>妥当性   | 5 | ①継続 | 各園・学校が継続的な学習活動を推進できるよう支援を続ける。充実した学習活動を図るため、園長会等で情報交換・情報提供を行っていく。また、家庭教育支援員の資質向上のため、県が作成した「つながるシート」の研修を受け、家庭教育学級での実践を検討する。 |
|                       |     |      | 効果性          | 5 |     |                                                                                                                           |
|                       |     |      | 効率性<br>(コスト) | 5 |     |                                                                                                                           |
|                       |     |      | 効率性<br>(人員)  | 4 |     |                                                                                                                           |

| 事業                            | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ （ 評 価 ）                                                                                                                                           |        | 今後の方向 |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                |
|-------------------------------|------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|-----|---|----------|---|---------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 家庭教育支援員の配置<br>(社会教育課)         | 5    | 100% | <table><tr><td>事業の妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(コスト)</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(人員)</td><td>5</td></tr></table> | 事業の妥当性 | 5     | 効果性 | 5 | 効率性(コスト) | 5 | 効率性(人員) | 5 | 家庭教育に資する事業を実施するため、家庭教育支援員を配置している。本年度は増員し、10名に委嘱した。その活動として、共働き親子へ夕食を安価で提供する家庭教育支援事業「だれでも食堂もぐもぐ」があり、民間団体へ上限15,000円を補助している。本年度は「加多世(毎月1回)」「マツイ学園(年3回)」「合亀(年2回)」, また、長永寺主催による「おてらごはんクラブ(年2回)」が初開催され、4団体が実施し、延べ361名が参加した。子ども連れでも気軽に参加でき、家族のふれ合いの場となっている。また、親子での遊び方、ふれあい方を体験的に学ぶことができたり、相談することができる「あそび塾」を開催し、110名の参加があった。<br>両活動へ家庭教育支援員が参画することで、親同士の交流を促し、家庭教育支援員への相談機会が増えた。 | ①継続<br>「もぐもぐ」は各地区1団体開催を目指し、活動の周知や活動への参加、既存団体の継続的な活動への支援などを行う。<br>また、「もぐもぐ」「あそび塾」が、子育て支援に関係することから、必要な親子に情報が届くよう、こども未来課と連携していく。  |
| 事業の妥当性                        | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                |
| 効果性                           | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                |
| 効率性(コスト)                      | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                |
| 効率性(人員)                       | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                |
| サポート隊の推進<br>(社会教育課)           | —    | 100% | <table><tr><td>事業の妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>4</td></tr><tr><td>効率性(コスト)</td><td>4</td></tr><tr><td>効率性(人員)</td><td>4</td></tr></table> | 事業の妥当性 | 5     | 効果性 | 4 | 効率性(コスト) | 4 | 効率性(人員) | 4 | 地域で子どもたちを守り育てる運動の一環として、836人のサポート隊員によって登下校時の見守りと声かけを地域全体で行なった。活動が、事件・事故の抑止力となっている。<br>また、長年サポート隊活動に従事している方へ感謝の意をこめて、市の感謝状規程により、地区からの推薦を経て8人のサポート隊員へ感謝状を贈呈し、活動への機運を高めた。                                                                                                                                                                                                   | ①継続<br>今後も地域と連携して、地域で子どもを守り育てる見守り活動を継続していく。また、連絡体制を確立し、状況に応じて、メール連絡網にて情報提供できるようにする。<br>隊員の高齢化が進んでいるため、新たな隊員確保を目指して広報していく。      |
| 事業の妥当性                        | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                |
| 効果性                           | 4    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                |
| 効率性(コスト)                      | 4    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                |
| 効率性(人員)                       | 4    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                |
| こども110番の家の推進<br>(社会教育課)       | —    | 100% | <table><tr><td>事業の妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>4</td></tr><tr><td>効率性(コスト)</td><td>4</td></tr><tr><td>効率性(人員)</td><td>4</td></tr></table> | 事業の妥当性 | 5     | 効果性 | 4 | 効率性(コスト) | 4 | 効率性(人員) | 4 | 市内小学校PTAが中心となり、学区内の商店等に参加の継続・新規登録を確認し、本年度は397件の登録があった。<br>登録者には「こども110番の家」の旗やプレートを配布し、いつでも子どもたちが助けを求められる体制をとっている。また、学校に依頼して「こども110番の家」の周知を図った。                                                                                                                                                                                                                          | ①継続<br>この活動は、市民全体の理解と協力が必須である。直接関わる子どもと登録者へ改めて説明・周知するとともに、市民全体へ紹介し、不測の場合にも対応できる体制を築いていく。また、今後も学校へ情報提供の依頼、啓発活動、登録者に用具の提供を行っていく。 |
| 事業の妥当性                        | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                |
| 効果性                           | 4    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                |
| 効率性(コスト)                      | 4    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                |
| 効率性(人員)                       | 4    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                |
| 声かけ運動の推進<br>(社会教育課)<br>※静岡県事業 | —    | 100% | <table><tr><td>事業の妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>4</td></tr><tr><td>効率性(コスト)</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(人員)</td><td>5</td></tr></table> | 事業の妥当性 | 5     | 効果性 | 4 | 効率性(コスト) | 5 | 効率性(人員) | 5 | 県が実施している「地域の青少年声掛け運動」に協働し、参加者を募った。園・学校・市職員・地区役員等の新規賛同者を広める活動をし、本年度新たに45人の新規参加者を迎え、累計登録者は5,487人となった。青少年を地域で育てる意識を醸成できた。                                                                                                                                                                                                                                                  | ①継続<br>県の指標が新規参加者数から研修会等での広報・周知となった。本市としては広く周知活動をするとともに参加者の募集も続けていく。                                                           |
| 事業の妥当性                        | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                |
| 効果性                           | 4    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                |
| 効率性(コスト)                      | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                |
| 効率性(人員)                       | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                |

| 事業                               | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ （ 評 価 ）                                                                                                                                                          |            |   |     | 今後の方向 |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |                                                                                  |
|----------------------------------|------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---|-----|-------|--------------|---|-------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------------------------------------------------------------------------|
| 青少年補導活動の実施<br>(社会教育課)            | —    | 100% | <table><tr><td>事業の<br/>妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>4</td></tr><tr><td>効率性<br/>(コスト)</td><td>4</td></tr><tr><td>効率性<br/>(人員)</td><td>4</td></tr></table> | 事業の<br>妥当性 | 5 | 効果性 | 4     | 効率性<br>(コスト) | 4 | 効率性<br>(人員) | 4 | 夜間に直接青少年を見かける機会が少なくなっている。<br>青少年補導員の活動として、夏季・冬季の県下一斉補導、はたちの集い、中学校卒業式、春季青少年補導の巡視を行い、少年の非行防止を啓発する活動を行った。                                                                                                                                                                        | ①継続 | 市民・商店への非行抑制の意識向上と青少年への啓発のため今後も活動を継続する。また、非行や犯罪などの青少年問題解決への対策について検討する場を設け、情報共有する。 |
| 事業の<br>妥当性                       | 5    |      |                                                                                                                                                                        |            |   |     |       |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |                                                                                  |
| 効果性                              | 4    |      |                                                                                                                                                                        |            |   |     |       |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |                                                                                  |
| 効率性<br>(コスト)                     | 4    |      |                                                                                                                                                                        |            |   |     |       |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |                                                                                  |
| 効率性<br>(人員)                      | 4    |      |                                                                                                                                                                        |            |   |     |       |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |                                                                                  |
| 市青少年健全育成会議・地区推進委員会の実施<br>(社会教育課) | 1    | 100% | <table><tr><td>事業の<br/>妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性<br/>(コスト)</td><td>4</td></tr><tr><td>効率性<br/>(人員)</td><td>4</td></tr></table> | 事業の<br>妥当性 | 5 | 効果性 | 5     | 効率性<br>(コスト) | 4 | 効率性<br>(人員) | 4 | 青少年健全育成会議は地域、学校、行政の関係者で組織しており、地域の青少年を取り巻く現状課題、重点取組を情報共有している。<br>本年度は、学社連携していくため、スクラムスクール運営協議会を青少年健全育成会議委員が視察し、各地区の活動に反映するため、課題や情報共有を行った。また、市重点取組「早寝早起き朝ご飯など基本的生活習慣の啓発」「ゲーム障害やネット依存への対策」を明記したものを通知し、各種地区組織への周知が図られた。また、本年度は、子供・若者育成支援推進強調月間静岡県大会が開催され、市内の青少年の健全な育成に対する機運を醸成した。 | ①継続 | 今後も学校と地域の連携を密にし、地区推進組織と情報共有を図り地域全体で青少年健全育成に取り組む。                                 |
| 事業の<br>妥当性                       | 5    |      |                                                                                                                                                                        |            |   |     |       |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |                                                                                  |
| 効果性                              | 5    |      |                                                                                                                                                                        |            |   |     |       |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |                                                                                  |
| 効率性<br>(コスト)                     | 4    |      |                                                                                                                                                                        |            |   |     |       |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |                                                                                  |
| 効率性<br>(人員)                      | 4    |      |                                                                                                                                                                        |            |   |     |       |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |                                                                                  |
| 「スクラム御前崎の集い」の開催<br>(社会教育課・学校教育課) | 1    | 100% | <table><tr><td>事業の<br/>妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性<br/>(コスト)</td><td>4</td></tr><tr><td>効率性<br/>(人員)</td><td>4</td></tr></table> | 事業の<br>妥当性 | 5 | 効果性 | 5     | 効率性<br>(コスト) | 4 | 効率性<br>(人員) | 4 | 令和3年度から、スクラム・スクール運営協議会と共催し、学校、家庭、地域、行政が連携して子どもを守り育てるための講演会を開催している。本年度は、11月の子供・若者育成支援推進強調月間に合わせ、静岡県大会を招聘し、開催した。御前崎クエストグローバルプログラム参加者による発表、久里浜医療センター名誉院長 樋口進氏による「子どものネット依存、ゲーム依存の現状と対応」基調講演や表彰など行い、青少年健全育成支援、子供若者育成支援運動に対する理解と自覚を高め、子供・若者育成支援県民運動の一層の発展を図った。                     | ①継続 | 今後もスクラム・スクール運営協議会と連携し重点取組など、青少年健全育成の観点から連携し取り組む。                                 |
| 事業の<br>妥当性                       | 5    |      |                                                                                                                                                                        |            |   |     |       |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |                                                                                  |
| 効果性                              | 5    |      |                                                                                                                                                                        |            |   |     |       |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |                                                                                  |
| 効率性<br>(コスト)                     | 4    |      |                                                                                                                                                                        |            |   |     |       |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |                                                                                  |
| 効率性<br>(人員)                      | 4    |      |                                                                                                                                                                        |            |   |     |       |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |                                                                                  |

## 5-2-1 生きていく力の基礎の育成

| 事業                             | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ ( 評 価 ) |   | 今後の方向 |                                                                                                       |
|--------------------------------|------|------|---------------|---|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主体的な遊びや体験を充実させる環境作り<br>(学校教育課) | 4    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | ①継続   | 各園の教育課題に向かい幼児理解、子どもの豊かな学びに繋がる環境など、実態や発達に応じた環境やしかけについて、研修を継続する。                                        |
|                                |      |      | 効果性           | 5 |       |                                                                                                       |
|                                |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 5 |       |                                                                                                       |
|                                |      |      | 効率性<br>(人員)   | 5 |       |                                                                                                       |
| 【再掲】<br>園の読書環境の整備<br>(学校教育課)   |      |      |               |   |       |                                                                                                       |
| 地域の教育力を生かした保育の推進<br>(学校教育課)    | 4    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | ①継続   | 引き続き、地域へ積極的に発信をしたり、学校支援コーディネーターに依頼したりし、園の活動を理解してもらいながら、子どもたちの学びや育ちに必要なことを精査し、地域と繋がり、地域に根付いた園を目指す。     |
|                                |      |      | 効果性           | 5 |       |                                                                                                       |
|                                |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 5 |       |                                                                                                       |
|                                |      |      | 効率性<br>(人員)   | 4 |       |                                                                                                       |
| 教諭・保育士対象各種研修会の実施<br>(学校教育課)    | 4    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | ①継続   | 公立園が3園となり、私立園も巻き込んだ御前崎市の乳幼児保育教育の質の向上のための研修が必要となる。育成指標や研修履歴を用いながら、職員自らが、主体的、意欲的に研修に取り組めるような体制や組織としていく。 |
|                                |      |      | 効果性           | 5 |       |                                                                                                       |
|                                |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 4 |       |                                                                                                       |
|                                |      |      | 効率性<br>(人員)   | 4 |       |                                                                                                       |
| 【再掲】<br>家庭教育支援の推進<br>(学校教育課)   |      |      |               |   |       |                                                                                                       |

| 事業                             | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ ( 評 価 ) |   | 今後の方向 |                                                                                                    |
|--------------------------------|------|------|---------------|---|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アプローチ・スタートアップブックの活用<br>(学校教育課) | 4    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | ①継続   | <p>小学校の入学説明会での保護者向けの説明は継続していく。</p> <p>幼小の交流について、一層の充実を図るため、職員間の連携をより深めていく。</p>                     |
|                                |      |      | 効果性           | 5 |       |                                                                                                    |
|                                |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 3 |       |                                                                                                    |
|                                |      |      | 効率性<br>(人員)   | 5 |       |                                                                                                    |
| 巡回相談、教育相談の実施<br>(学校教育課)        | —    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | ①継続   | <p>来年度も同じように、巡回相談は各園・学校が年2回ずつ利用できるよう計画していく。</p> <p>教育相談についても同様に、年10回、保護者にとっての必要な支援の場として設定していく。</p> |
|                                |      |      | 効果性           | 5 |       |                                                                                                    |
|                                |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 5 |       |                                                                                                    |
|                                |      |      | 効率性<br>(人員)   | 5 |       |                                                                                                    |

※キューベル (Cubell) 本年度から導入した保護者も使用できる小中学校用のアプリケーション。欠席連絡、健康チェック、連絡網などに使用する。

|                                    |      |      |              |   |     |                                                                                                                                            |
|------------------------------------|------|------|--------------|---|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 個性伸長支援員の配置<br>(学校教育課)              | 10   | 95%  | 事業の<br>妥当性   | 5 | ①継続 | <p>外国籍児支援員ははまおか幼稚園だけでなく、さくらこども園にも必要であるため、適した人材を引き続き探していく。</p> <p>園の再編に伴い会計年度任用職員の支援員が減少し、また一段と正規職員が個別支援を担うこととなるため、業務改善に取り組み、多忙感解消に努める。</p> |
|                                    |      |      | 効果性          | 5 |     |                                                                                                                                            |
|                                    |      |      | 効率性<br>(コスト) | 5 |     |                                                                                                                                            |
|                                    |      |      | 効率性<br>(人員)  | 4 |     |                                                                                                                                            |
| 療育指導員による療育の推進と充実<br>(学校教育課・こども未来課) | 5・10 | 100% | 事業の<br>妥当性   | 5 | ①継続 | <p>引き続き、他機関と連携を図りながら、子ども理解と、個に寄り添った支援に努めていく。早期療育に対する保護者への理解や啓発は丁寧な働きかけが必要である。また、就学先決定をスムーズに進めていくために、早めの働きかけをしていく。</p>                      |
|                                    |      |      | 効果性          | 5 |     |                                                                                                                                            |
|                                    |      |      | 効率性<br>(コスト) | 5 |     |                                                                                                                                            |
|                                    |      |      | 効率性<br>(人員)  | 4 |     |                                                                                                                                            |

| 事業                                    | 重点取組 | 執行度 | 点 検 ・ （ 評 価 ） |   |                                                                                                                                                       | 今後の方向 |                                                                        |
|---------------------------------------|------|-----|---------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------------------------------------------------------------------------|
| 適切な職員配置<br>(学校教育課・<br>総務課・こども未<br>来課) | —    | 90% | 事業の<br>妥当性    | 5 | 再編統合により白羽幼稚園の職員を転園先の白羽保育園、御前崎こども園へ、高松幼稚園の職員をはまおか幼稚園へ配置したことで、転園の不安が解消され、子どもや保護者の安心安定に繋がった。また、幼保連携型こども園の担任配置や早番や遅番の正規を含めたローテーションなど令和7年度の体制に向けて試験的に実施した。 | ①継続   | 引き続き、子どもにとって安心安全で発達に応じた豊かな経験を保障するために、また職員に対し研修や休憩時間を保障するために、人材を確保していく。 |
|                                       |      |     | 効果性           | 5 |                                                                                                                                                       |       |                                                                        |
|                                       |      |     | 効率性<br>(コスト)  | 4 |                                                                                                                                                       |       |                                                                        |
|                                       |      |     | 効率性<br>(人員)   | 4 |                                                                                                                                                       |       |                                                                        |
|                                       |      |     |               |   |                                                                                                                                                       |       |                                                                        |

## 5-2-2 変化の激しい今後の社会を生き抜くための資質・能力の育成

| 事業                                       | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ ( 評 価 )                                                                                                                                           |        | 今後の方向 |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                 |
|------------------------------------------|------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|-----|---|----------|---|---------|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市独自の学力調査の実施、分析と活用をもとにした各校での指導<br>(学校教育課) | 7    | 100% | <table><tr><td>事業の妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(コスト)</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(人員)</td><td>5</td></tr></table> | 事業の妥当性 | 5     | 効果性 | 5 | 効率性(コスト) | 5 | 効率性(人員) | 5 | 小学校2～5年生、中学1・2年生を対象に、標準学力調査と質問紙調査を実施した。結果の分析を静岡大学教育学部長村山功教授に依頼し、9月に各校の研修主任に対して直接指導をいただいた。総じて全国の標準スコアよりもやや下回るものの、学年が上がるにつれて全国との差が小さくなっている。また、小学校においては学年によって差があるため、課題が見られる学年への対策の必要性を御指導いただいた。また質問紙調査では生活習慣や学級風土についても分析できるため、学習面だけでなく生活面においても活用できる。 | ①継続<br>全国学力・学習状況調査は小学校6年、中学校3年の実施であるため、その他の学年について学力調査や質問紙調査を実施し、経年比較などの分析をし、授業改善等に活用していく。                                       |
| 事業の妥当性                                   | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                 |
| 効果性                                      | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                 |
| 効率性(コスト)                                 | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                 |
| 効率性(人員)                                  | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                 |
| 全国体力運動能力・運動習慣等調査の分析と活用<br>(学校教育課)        | 9    | 100% | <table><tr><td>事業の妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(コスト)</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(人員)</td><td>5</td></tr></table> | 事業の妥当性 | 5     | 効果性 | 5 | 効率性(コスト) | 5 | 効率性(人員) | 5 | 市内小中学校の児童生徒の運動能力や運動習慣等を客観的に捉える機会となった。中学校2年生で実施した半数以上の種目で、全国平均よりも高い結果となった。市で取り組んでいる「早寝・早起き・朝ごはん」と関連も分析することができるため、生活習慣の改善等の啓発にもつなげられた。特に朝食を毎日食べる習慣のあるグループは、毎日食べないグループに比べて体力の合計点が高いという結果となった。朝食の重要性を再確認できた。                                          | ①継続<br>調査結果を分析することで、授業改善だけでなく生活改善につなげられるように結果を活用していく。                                                                           |
| 事業の妥当性                                   | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                 |
| 効果性                                      | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                 |
| 効率性(コスト)                                 | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                 |
| 効率性(人員)                                  | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                 |
| スクラム研究会の実施<br>(学校教育課)                    | 4    | 100% | <table><tr><td>事業の妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(コスト)</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(人員)</td><td>5</td></tr></table> | 事業の妥当性 | 5     | 効果性 | 5 | 効率性(コスト) | 5 | 効率性(人員) | 5 | 上智大学奈須正裕教授を招聘し、御前崎こども園にて研修を行った。遊びの中で生まれた様々な事象に保育者自身が対応できるようスキルを身につけることや教材研究の大切さ、そして見通しをもった取り組みの必要性も更なる保育の質の向上の為に必要であることを学んだ。また、本年度も市内小中学校、私立園の先生が参加したことで、市の乳幼児教育への理解、子ども観や教育観の共有、また幼小の接続も含めた「途切れない教育」に繋がる研究会となった。                                 | ①継続<br>研究会等を通し、市の乳幼児教育への理解が進んできている。引き続き、公開保育や研究会を通し、小中学校へ積極的に発信し、共有していくことで「遊びこむ子」から「学びこむ子」を遂行させていくとともに、私立園と保育について語り合う場を大切にしていく。 |
| 事業の妥当性                                   | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                 |
| 効果性                                      | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                 |
| 効率性(コスト)                                 | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                 |
| 効率性(人員)                                  | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                 |
| スクラムゼミナールの実施<br>(学校教育課)                  | 7    | 100% | <table><tr><td>事業の妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(コスト)</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(人員)</td><td>5</td></tr></table> | 事業の妥当性 | 5     | 効果性 | 5 | 効率性(コスト) | 5 | 効率性(人員) | 5 | 上智大学奈須正裕教授を招聘し、市内各校で公開授業・研修会を実施した。国の中央教育審議会の委員でもある奈須教授に授業を参観していただき、直接指導いただくことで、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的推進」や「自立した学び手の育成」について理解を深めることができた。市内の学校での取組は全国教育機関紙や書籍に取り上げられるなど注目を集めた。主体的に学ぶ姿や、粘り強く学ぶ姿など非認知能力にもつながる授業実践が展開されている。                                | ①継続<br>国の教育界を代表する教授から、専門的な視点で指導をいただき、一層授業改善を推進する。                                                                               |
| 事業の妥当性                                   | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                 |
| 効果性                                      | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                 |
| 効率性(コスト)                                 | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                 |
| 効率性(人員)                                  | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                 |

| 事業                                  | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ ( 評 価 )                                                                                                                                           |        | 今後の方向 |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                              |
|-------------------------------------|------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|-----|---|----------|---|---------|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教職員対象各研修会の実施<br>(学校教育課)             | 7    | 100% | <table><tr><td>事業の妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(コスト)</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(人員)</td><td>5</td></tr></table> | 事業の妥当性 | 5     | 効果性 | 5 | 効率性(コスト) | 5 | 効率性(人員) | 5 | 教職員の分掌等に応じた各種研修会を年間計画に位置付け実施した。<br>授業改善推進委員会では、御前崎市授業改善テーマの実現に向け、子ども主体の授業づくりを推進した。<br>教頭・事務合同研修会では、学校事務再編について、改めて見直す機会となった。<br>主幹教諭・教務主任研修会では、外部講師を招聘し、開かれた教育課程の実現に向け、御前崎市全体でめざす姿を共有することができた。また、園長・副園長とも共有することで、さらに効果的な園・学校運営につながった。 | ①継続<br>各種研修会における目標を明確にし、達成するための手立てや、達成状況を把握し、次年度に活かす。                                                                        |
| 事業の妥当性                              | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                              |
| 効果性                                 | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                              |
| 効率性(コスト)                            | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                              |
| 効率性(人員)                             | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                              |
| 外国語指導助手(ALT)及び英語活動指導員の配置<br>(学校教育課) | 7    | 100% | <table><tr><td>事業の妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(コスト)</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(人員)</td><td>5</td></tr></table> | 事業の妥当性 | 5     | 効果性 | 5 | 効率性(コスト) | 5 | 効率性(人員) | 5 | ALT2名は、小中5校の外国語活動と外国語の授業を担当とともに、英語専科教員1名は、2校の小学校の外国語活動と外国語の授業を担当した。ALTや専科教員がいることで、子どもたちは生の英語に触れる機会を得ている。また、意欲的に英語を活用し、楽しく学習に取り組む様子が見られている。ALTは休み時間や学校行事等でも子どもたちと積極的に関わり、子どもたちにとっても大変有益であった。<br>また、教師が外国語の授業づくりについて研修を深めることにもつながっている。 | ①継続<br>子どもたちの外国語活動や外国語の授業を充実させるために、引き続きALTや英語専科教員を配置していく。                                                                    |
| 事業の妥当性                              | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                              |
| 効果性                                 | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                              |
| 効率性(コスト)                            | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                              |
| 効率性(人員)                             | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                              |
| ICT支援員の配置<br>(教育総務課)                | 8    | 100% | <table><tr><td>事業の妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(コスト)</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(人員)</td><td>5</td></tr></table> | 事業の妥当性 | 5     | 効果性 | 5 | 効率性(コスト) | 5 | 効率性(人員) | 5 | GIGA構想4年目、ICT支援員が全校配置となつてから6年目となる。本年度は、各小学校毎週1回、中学校隔週1回の支援を行った。まず、授業の中で児童1人1人がGIGA端末を活用できるような環境整備や操作補助を行った。また、教職員に対しては、校務DX化に向けて、研修会や校務DX化専用サイトの構築等、手厚く支援し、校務DX化が前進した。GIGAスクール構想を実現するうえで、現場の教員からは高く評価されている。                          | ①継続<br>個の学びを充実させるために、1人1台端末の活用の充実に向けて、授業支援を継続していく。また、質の高い教育を目指し、校務DX化を推進し、環境整備や校内研修の充実を図っていく必要があるため、専門家であるICT支援員を引き続き配置していく。 |
| 事業の妥当性                              | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                              |
| 効果性                                 | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                              |
| 効率性(コスト)                            | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                              |
| 効率性(人員)                             | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                              |
| 情報モラル学習の推進<br>(学校教育課)               | 8    | 100% | <table><tr><td>事業の妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(コスト)</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(人員)</td><td>5</td></tr></table> | 事業の妥当性 | 5     | 効果性 | 5 | 効率性(コスト) | 5 | 効率性(人員) | 5 | e-lunchに業務委託し、各校1回ずつ情報モラル教育を実施した。また、同じく業務委託し、中学校のネットパトロールも行った。毎月2回のネットパトロールの報告では、個人情報等がわかる形で公開されているような事案は減少している。個人情報等の意識は高まっていると考えられる。一方で、SNS内での人間関係のトラブルや長時間利用については今後の課題となる。                                                        | ①継続<br>個人情報等の取扱いだけでなく、SNS上でのコミュニケーションの在り方等にも触れ、ネットリテラシーの向上を図る。                                                               |
| 事業の妥当性                              | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                              |
| 効果性                                 | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                              |
| 効率性(コスト)                            | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                              |
| 効率性(人員)                             | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                              |

※e-lunch 地域のIT化支援と女性の社会参加の応援をミッションに活動する焼津市のNPO法人。(出典 公式サイトより)



| 事業                                     | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ ( 評 価 )                                                                                                                                           |        | 今後の方向 |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                           |     |                                                                                                                 |
|----------------------------------------|------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|-----|---|----------|---|---------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【再掲】<br>学校における読書活動の推進<br>(学校教育課)       |      |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                           |     |                                                                                                                 |
| 【再掲】<br>市立図書館と学校図書館との連携<br>(図書館・学校教育課) |      |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                           |     |                                                                                                                 |
| 「しおかぜ先生」の配置<br>(学校教育課)                 | 10   | 100% | <table><tr><td>事業の妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(コスト)</td><td>4</td></tr><tr><td>効率性(人員)</td><td>3</td></tr></table> | 事業の妥当性 | 5     | 効果性 | 5 | 効率性(コスト) | 4 | 効率性(人員) | 3 | 不登校対策として、第一小と浜岡中にしおかぜ先生を各1名ずつ配置している。<br>第一小では、昨年度まで校内サニールームにいた児童が本年度、教室に入ることができている。また、浜岡中学校の校内ホットルームでは、昨年度まで不登校だった生徒が、終日ホットルームに登校することができたり、教室に入ることができる生徒も増えていたりすることから、不登校対策としての役割を果たしている。 | ①継続 | 不登校の早期対応のためや、不登校傾向にある児童生徒の居場所づくりのために、しおかぜ先生の配置は必要である。<br>現在2校にしか配置されていないが、将来的には全小中学校に配置できるよう、今後も継続しながら人材確保に努める。 |
| 事業の妥当性                                 | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                           |     |                                                                                                                 |
| 効果性                                    | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                           |     |                                                                                                                 |
| 効率性(コスト)                               | 4    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                           |     |                                                                                                                 |
| 効率性(人員)                                | 3    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                           |     |                                                                                                                 |
| 学習支援員等の配置<br>(学校教育課)                   | 10   | 100% | <table><tr><td>事業の妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(コスト)</td><td>4</td></tr><tr><td>効率性(人員)</td><td>3</td></tr></table> | 事業の妥当性 | 5     | 効果性 | 5 | 効率性(コスト) | 4 | 効率性(人員) | 3 | 学習支援員を各校の実態に応じて配置することで、入学当初の1年生や通常学級に在籍する支援を要する児童生徒への適切な対応が可能となり、落ち着いた環境づくりに繋がっている。<br>外国人の対応、就学支援、ケース会議、各専門機関との連携等、各専門指導員が力を発揮し、安定した学校運営を支えている。                                          | ①継続 | 年々、通常学級における支援を要する児童生徒が増加しているため、学習支援員の需要は益々高まっている。各校の実態に応じて効果的な配置にする。<br>また、専門指導員の需要も高まっているため、必要な人材確保に努める。       |
| 事業の妥当性                                 | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                           |     |                                                                                                                 |
| 効果性                                    | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                           |     |                                                                                                                 |
| 効率性(コスト)                               | 4    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                           |     |                                                                                                                 |
| 効率性(人員)                                | 3    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                           |     |                                                                                                                 |
| いじめ問題対策連絡協議会の実施<br>(学校教育課)             | 6    | 100% | <table><tr><td>事業の妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(コスト)</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性(人員)</td><td>5</td></tr></table> | 事業の妥当性 | 5     | 効果性 | 5 | 効率性(コスト) | 5 | 効率性(人員) | 5 | いじめ問題について各校の現状の情報共有をした。また、事例をもとにいじめの認知について検討し、その対応の在り方について共通理解を図る機会となった。深刻な事案が発生した場合に適切な対応ができるよう、警察・児童相談所をはじめとする関係機関が互いに顔の見える関係を構築した。                                                     | ①継続 | いじめ問題については、事態が深刻化した場合、命にかかわる事案につながることもあるため、学校内における組織的対応に加え、関係機関の連携体制を築いていく。                                     |
| 事業の妥当性                                 | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                           |     |                                                                                                                 |
| 効果性                                    | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                           |     |                                                                                                                 |
| 効率性(コスト)                               | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                           |     |                                                                                                                 |
| 効率性(人員)                                | 5    |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                           |     |                                                                                                                 |
| 【再掲】<br>シニアスクールの実施<br>(学校教育課)          |      |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                           |     |                                                                                                                 |
| 【再掲】<br>巡回相談、教育相談の実施<br>(学校教育課)        |      |      |                                                                                                                                                         |        |       |     |   |          |   |         |   |                                                                                                                                                                                           |     |                                                                                                                 |

| 事業                                     | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ ( 評 価 ) |   |                                                                                                                                                                                                              |     | 今後の方向                                                                                                       |
|----------------------------------------|------|------|---------------|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 就学支援委員会、個性伸長支援教育専門家チーム会議の実施<br>(学校教育課) | 10   | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | 就学支援委員会を年4回実施し、特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、進路を見据えて適切な学びの場について審議することができた。新学齢児の就学支援についても、園担当の指導主事や園、学校が連携をとり、見通しを持った丁寧な就学支援を進めることができた。<br>専門家チーム会議は年2回行い、本年度は、小学校通級(発達)とR7開設の中学校通級(発達)の児童生徒の審議を1人1人の様子を把握しながら、丁寧に行った。 | ①継続 | 特別な支援が必要な児童生徒の適切な学びの場を専門家とともに審議する場として引き続き機能させていく。                                                           |
|                                        |      |      | 効果性           | 5 |                                                                                                                                                                                                              |     |                                                                                                             |
|                                        |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 5 |                                                                                                                                                                                                              |     |                                                                                                             |
|                                        |      |      | 効率性<br>(人員)   | 5 |                                                                                                                                                                                                              |     |                                                                                                             |
| 適応指導教室「サンルーム」の運営<br>(学校教育課)            | 10   | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | 学校での集団生活等に不安を抱える児童生徒が利用し、自分のペースで学習したり、他の児童生徒や指導員とコミュニケーションをとったりする居場所となっている。利用する児童生徒の中には、学校への登校とサンルームへの登校を併用する利用者もいる。学校職員も来室し直接利用児童の様子を見たり話をしたりすることで、学校との関係を保つこともできている。11月末時点で小学生1名、中学生7名の利用がある。              | ①継続 | 不登校児童生徒の増加は、市内だけでなく社会的な大きな課題となっている。児童生徒が自分らしく学べる居場所の一つとして今後もサンルームでの支援を継続する。                                 |
|                                        |      |      | 効果性           | 4 |                                                                                                                                                                                                              |     |                                                                                                             |
|                                        |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 5 |                                                                                                                                                                                                              |     |                                                                                                             |
|                                        |      |      | 効率性<br>(人員)   | 5 |                                                                                                                                                                                                              |     |                                                                                                             |
| 【再掲】<br>アプローチ・スタートアップブックの活用<br>(学校教育課) |      |      |               |   |                                                                                                                                                                                                              |     |                                                                                                             |
| GIGAスクールの推進<br>(教育総務課)                 | 8    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | 1人1台端末を活用した学びを充実させるために、クラウドの活用や授業支援ソフトウェアの活用が進んでいる。<br>御前崎市の授業改善テーマである「学びこむ」が進む中で、個別最適な学びに応じた様々な学習環境の一つとしてGIGA端末の活用が行われている。また、子ども自身がその環境を選択することで、従来の一斉学習という学び方だけでなく、協働的な学びや個に応じた学びなど、様々な学び方が広がっている。          | ①継続 | これからの時代に必要な資質・能力を育成するために、GIGAスクール構想の推進は必須となる。学習環境の一つとして、クラウドを活用した教材やソフトウェアを整備、改善し、個別最適な学びにつながる授業づくりを支援していく。 |
|                                        |      |      | 効果性           | 5 |                                                                                                                                                                                                              |     |                                                                                                             |
|                                        |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 4 |                                                                                                                                                                                                              |     |                                                                                                             |
|                                        |      |      | 効率性<br>(人員)   | 5 |                                                                                                                                                                                                              |     |                                                                                                             |

※クラウド クラウドサービスともいう。インターネットを通してソフトウェアやサーバー環境を利用できるサービスのこと。

## 5-2-3 子どもたちが可能性に挑戦できる教育環境の整備

| 事業                      | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ ( 評 価 ) |   | 今後の方向 |                                                                                                                                        |
|-------------------------|------|------|---------------|---|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 安全安心な教育環境の向上<br>(教育総務課) | —    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | ①継続   | クラスの増減に応じた施設整備、社会情勢やICT化の対応を行い、適正な整備、維持管理に努める。併せて長寿命化計画に沿って、各校の大規模修繕を実施していく。                                                           |
|                         |      |      | 効果性           | 5 |       |                                                                                                                                        |
|                         |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 5 |       |                                                                                                                                        |
|                         |      |      | 効率性<br>(人員)   | 5 |       |                                                                                                                                        |
| 特別教室の多機能化<br>(教育総務課)    | —    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | ①継続   | 今後も学校要望や重要度に応じて、施工方法も工夫しながら整備を行っていく。                                                                                                   |
|                         |      |      | 効果性           | 5 |       |                                                                                                                                        |
|                         |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 5 |       |                                                                                                                                        |
|                         |      |      | 効率性<br>(人員)   | 5 |       |                                                                                                                                        |
| 学校再編計画の検討<br>(教育総務課)    | 12   | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | ①継続   | 学校再編計画案について慎重に検討し、市民等へ丁寧な説明を行いながら計画を策定していく。                                                                                            |
|                         |      |      | 効果性           | 3 |       |                                                                                                                                        |
|                         |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 5 |       |                                                                                                                                        |
|                         |      |      | 効率性<br>(人員)   | 5 |       |                                                                                                                                        |
| 学校のICT環境の向上<br>(教育総務課)  | 8    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | ①継続   | 令和7年度の教科書改訂に伴い、中学校デジタル教科書の配備を行う。また、ICT整備を学習環境の一つとしてとらえ、児童生徒が自ら教材を選ぶことができるように、ソフトウェアの整備を継続したい。さらに、校務DX化に向けて、GoogleWorkspaceの利用を充実させていく。 |
|                         |      |      | 効果性           | 5 |       |                                                                                                                                        |
|                         |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 4 |       |                                                                                                                                        |
|                         |      |      | 効率性<br>(人員)   | 5 |       |                                                                                                                                        |

※Google Workspace Gmail、カレンダー、ドライブ、Meet などのアプリを一つに集約したクラウドサービス。(Google Workspace 公式サイトを参照)

| 事業                        | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ ( 評 価 )                                                                      |   | 今後の方向 |                                                     |
|---------------------------|------|------|------------------------------------------------------------------------------------|---|-------|-----------------------------------------------------|
| ICT関連周辺機器の安定稼働<br>(教育総務課) | 8    | 100% | 事業の<br>妥当性                                                                         | 5 | ①継続   | 文部科学省メッセージや学校ニーズをとらえ、必要な周辺機器等の整備をコスト意識を持ちながら継続していく。 |
|                           |      |      | 効果性                                                                                | 5 |       |                                                     |
|                           |      |      | 効率性<br>(コスト)                                                                       | 4 |       |                                                     |
|                           |      |      | 効率性<br>(人員)                                                                        | 5 |       |                                                     |
|                           |      |      | 集中管理している教育ネットワークサーバーは、引き続きリース契約にて安定稼働をしている。GIGAスクール構想によって設置・導入した周辺機器やソフトの有効活用に繋げた。 |   |       |                                                     |

## 5-2-4 子どもたちの心と体を支える安全で魅力ある学校給食の提供

| 事業                              | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ （ 評 価 ） |   | 今後の方向 |                                                                                    |
|---------------------------------|------|------|---------------|---|-------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 安全安心で魅力ある学校給食の提供<br>(学校給食共同調理場) | —    | 90%  | 事業の妥当性        | 5 | ①継続   | 引き続き栄養教諭、委託業者と連携を密にし、安心安全で魅力ある学校給食の提供に努める。                                         |
|                                 |      |      | 効果性           | 4 |       |                                                                                    |
|                                 |      |      | 効率性(コスト)      | 4 |       |                                                                                    |
|                                 |      |      | 効率性(人員)       | 4 |       |                                                                                    |
| アレルギー対応の実施<br>(学校給食共同調理場)       | —    | 100% | 事業の妥当性        | 5 | ①継続   | 引き続き園・学校と連携し、安全なアレルギー対応給食を提供し事故防止に務める。                                             |
|                                 |      |      | 効果性           | 4 |       |                                                                                    |
|                                 |      |      | 効率性(コスト)      | 4 |       |                                                                                    |
|                                 |      |      | 効率性(人員)       | 4 |       |                                                                                    |
| 食育指導の推進<br>(学校給食共同調理場)          | —    | 100% | 事業の妥当性        | 4 | ①継続   | 引き続き食育指導及び給食献立で郷土食や行事、地場産物の活用を通し「食」への関心を深めるよう努める。<br>生産者との交流を行うことで、さらに食への関心を深めていく。 |
|                                 |      |      | 効果性           | 4 |       |                                                                                    |
|                                 |      |      | 効率性(コスト)      | 4 |       |                                                                                    |
|                                 |      |      | 効率性(人員)       | 4 |       |                                                                                    |
| 地産地消の推進<br>(学校給食共同調理場)          | —    | 60%  | 事業の妥当性        | 3 | ①継続   | 給食で使用する食材を積極的に市内産、県内産とするよう、効率よく効果的な方法を検討する。<br>また、生産者から直接購入するための方法を引き続き検討していく。     |
|                                 |      |      | 効果性           | 3 |       |                                                                                    |
|                                 |      |      | 効率性(コスト)      | 3 |       |                                                                                    |
|                                 |      |      | 効率性(人員)       | 3 |       |                                                                                    |

## 5-3-1 笑顔でつながる学びの輪の醸成

| 事業                                     | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ （ 評 価 ） |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     | 今後の方向                                                                                                                                                                                               |  |
|----------------------------------------|------|------|---------------|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 「おまえざき学びの航海図」の活用と生涯学習講座等の充実<br>(社会教育課) | 13   | 100% | 事業の妥当性        | 5 | 「学びの航海図」とは、ライフステージごとの目指す姿、大切にしたいことを記し、自らのこれまでの歩みと、これからの歩み方を記載できるものである。本年度は、御前崎中学校、対話から始まる講座で活用した。シートに記載した内容を元に、グループ内で対話をすることで、学びへの気づきや活力、次の学びに繋ぐ取組となっている。また、30回学びを記入することができる「学びのパスポート」は、「学びの航海図」に記載したことを実現するためのサポートとなっている。<br>生涯学習講座については、市役所各課や教育委員会が企画運営する講座の他、地区センター講座や自主講座など内容が多岐に渡る講座を市民に提供した。そして、講座情報を一元化した生涯学習ガイドブックを作成し、市民にわかりやすい情報提供を行った。 | ①継続 | 対話による学びや気づきが得られるよう、「学びの航海図」の活用を進めていく。<br>「学びのパスポート」で、学びの記録を見える化し、モチベーションアップに繋げる。<br>生涯学習講座の更なる充実と講座参加者の増加を狙い、魅力的な講座開催を目指す。<br>中学生の部活動が地域に移行することから、生涯学習ガイドブックに中学生参加可能な講座などを掲載し、中学生の地域部活動をバックアップしていく。 |  |
|                                        |      |      | 効果性           | 5 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |                                                                                                                                                                                                     |  |
|                                        |      |      | 効率性(コスト)      | 4 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |                                                                                                                                                                                                     |  |
|                                        |      |      | 効率性(人員)       | 4 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |                                                                                                                                                                                                     |  |
|                                        |      |      |               |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |                                                                                                                                                                                                     |  |
| 「学びの循環」の仕組みづくりの推進<br>(社会教育課)           | 13   | 100% | 事業の妥当性        | 5 | 「学びの循環」とは、個人内での循環、学びの場としての循環が挙げられる。個人の学びの循環は、学びの航海図や学びのパスポートを活用することにより、更なる学びへの意欲を起している。また、学びの場としての循環は、それぞれの団体、制度を整理し、学びのプラットフォームを形成した。                                                                                                                                                                                                             | ①継続 | 学びたい人が継続して学ぶことができる環境を整えるために、学びの循環の仕組みづくりの推進をしていく。                                                                                                                                                   |  |
|                                        |      |      | 効果性           | 5 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |                                                                                                                                                                                                     |  |
|                                        |      |      | 効率性(コスト)      | 4 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |                                                                                                                                                                                                     |  |
|                                        |      |      | 効率性(人員)       | 4 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |                                                                                                                                                                                                     |  |
|                                        |      |      |               |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |                                                                                                                                                                                                     |  |
| 社会教育学級活動への支援<br>(社会教育課)                | 13   | 100% | 事業の妥当性        | 5 | 本年度は、市内で活動する自主的な学習団体13学級が開設された。生活課題、地域課題など様々な分野に関する学び合いが行われ、地域コミュニティの向上に繋がる動きを支援することができた。講師への謝礼金や材料費などを補助し、充実した学習活動の一助となっている。                                                                                                                                                                                                                      | ①継続 | 各団体へ補助金を交付し、活動の支援をしている。この補助金は活動を継続して続けてもらうための補助金である。交付期間を定めるかどうかの検討を行ったが、今後、期間を定めることなく、補助金交付を行う。                                                                                                    |  |
|                                        |      |      | 効果性           | 5 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |                                                                                                                                                                                                     |  |
|                                        |      |      | 効率性(コスト)      | 4 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |                                                                                                                                                                                                     |  |
|                                        |      |      | 効率性(人員)       | 4 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |                                                                                                                                                                                                     |  |
|                                        |      |      |               |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |                                                                                                                                                                                                     |  |

## 5-3-2 市民の豊かな心を育み、暮らしに寄り添う図書館づくり

| 事業                                     | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ ( 評 価 ) |   | 今後の方向 |                                                                 |
|----------------------------------------|------|------|---------------|---|-------|-----------------------------------------------------------------|
| 読み聞かせなどのボランティアとの協働<br>(図書館)            | 3    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | ①継続   | 今後もボランティアを活用した読書推進を継続していく。ボランティアの充実感と子ども読書推進の双方に効果があるよう取り組んでいく。 |
|                                        |      |      | 効果性           | 5 |       |                                                                 |
|                                        |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 5 |       |                                                                 |
|                                        |      |      | 効率性<br>(人員)   | 5 |       |                                                                 |
| 【再掲】<br>市立図書館と学校図書館との連携<br>(図書館・学校教育課) |      |      |               |   |       |                                                                 |
| 子どものための<br>読書環境の整備<br>(図書館)            | 3    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | ①継続   | 第3次御前崎市子ども読書活動推進計画を策定し、「子どもたちが本と親しむまち」を目指して更なる読書活動推進に注力していく。    |
|                                        |      |      | 効果性           | 5 |       |                                                                 |
|                                        |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 5 |       |                                                                 |
|                                        |      |      | 効率性<br>(人員)   | 5 |       |                                                                 |
| 市立図書館の充実した資料収集<br>(図書館)                | 3    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | ①継続   | 市民の生活に根ざした図書館となるよう、引き続きバランスの取れた蔵書構成と“利用される資料”を意識した選書を行っていく。     |
|                                        |      |      | 効果性           | 4 |       |                                                                 |
|                                        |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 4 |       |                                                                 |
|                                        |      |      | 効率性<br>(人員)   | 3 |       |                                                                 |
| 図書館での展示や講演会など文化事業の開催<br>(図書館)          | 14   | 95%  | 事業の<br>妥当性    | 5 | ①継続   | 図書館全体でアイデアを出し合って幅広く参加してもらえらる催しを企画し、市民の生涯学習に資するよう取り組んでいく。        |
|                                        |      |      | 効果性           | 4 |       |                                                                 |
|                                        |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 5 |       |                                                                 |
|                                        |      |      | 効率性<br>(人員)   | 3 |       |                                                                 |

| 事業                              | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ （ 評 価 ） |  |   |                                                                                                                                                                                                                         | 今後の方向 |                                                                 |
|---------------------------------|------|------|---------------|--|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------|
| 問題解決に対する情報提供などの支援<br>（図書館）      | —    | 100% | 事業の<br>妥当性    |  | 5 | 静岡県図書館協会が主催するレファレンス研修会に経験年数に応じて参加し、職員間のレファレンス対応力の平準化を図った。30件(4月～2月)の資料・調査相談に対応した。<br>※レファレンス業務…図書館資料を用いて利用者の調査相談に応じる業務                                                                                                  | ①継続   | 研修に参加して継続した職員のレファレンス対応力向上に努めている。レファレンス業務について周知し、図書館の利用促進を図っていく。 |
|                                 |      |      | 効果性           |  | 4 |                                                                                                                                                                                                                         |       |                                                                 |
|                                 |      |      | 効率性<br>(コスト)  |  | 4 |                                                                                                                                                                                                                         |       |                                                                 |
|                                 |      |      | 効率性<br>(人員)   |  | 3 |                                                                                                                                                                                                                         |       |                                                                 |
| 図書館サービスとしてのレクリエーションの検証<br>（図書館） | —    | —    | 事業の<br>妥当性    |  | 2 | 県立中央図書館の調査により、県内公立図書館における実施状況を把握した。本格的にボードゲームを活用したサービスを提供している図書館はなかった。                                                                                                                                                  | ⑥中止   | 有効性についての情報収集は継続するが、新規事業としての検討は一旦終了とする。                          |
|                                 |      |      | 効果性           |  | — |                                                                                                                                                                                                                         |       |                                                                 |
|                                 |      |      | 効率性<br>(コスト)  |  | — |                                                                                                                                                                                                                         |       |                                                                 |
|                                 |      |      | 効率性<br>(人員)   |  | — |                                                                                                                                                                                                                         |       |                                                                 |
| 電子情報の利用促進<br>（図書館）              | —    | 100% | 事業の<br>妥当性    |  | 5 | 継続してホームページやLINE、SNSを活用した情報発信に努め、広範囲に図書館事業を周知することができた。催しや特集コーナーの告知、おすすめ図書、作品展示の情報配信により図書館への興味を喚起することができた。また、時間帯を気にせずに申込みフォームからの申し込み方法が定着したことにより、催しへの参加も促進されたと考える。<br>スマートフォンで利用カードのバーコードを表示できるプログラムを採用し、利便性の向上を図ることができた。 | ①継続   | 今後も社会の変化に沿った情報発信に努める。一方で、電子情報を受け取るツールを持たない市民への広報にも留意する。         |
|                                 |      |      | 効果性           |  | 5 |                                                                                                                                                                                                                         |       |                                                                 |
|                                 |      |      | 効率性<br>(コスト)  |  | 5 |                                                                                                                                                                                                                         |       |                                                                 |
|                                 |      |      | 効率性<br>(人員)   |  | 5 |                                                                                                                                                                                                                         |       |                                                                 |
| 快適な読書空間の確保<br>（図書館）             | —    | 100% | 事業の<br>妥当性    |  | 5 | 開館を継続しながらリースにより東館空調設備改修を行い、快適な利用環境を整えることができた。リース方式を採用することで予算の平準化を図ることができた。また12月の特別整理期間中に本館2階展示ギャラリーのLED照明化工事を施工し、施設のさらなる省エネルギー化を推進することができた。                                                                             | ①継続   | 計画的な設備の更新・改修により施設全体の長寿命化と、安全安心な利用環境の確保に努めている。                   |
|                                 |      |      | 効果性           |  | 5 |                                                                                                                                                                                                                         |       |                                                                 |
|                                 |      |      | 効率性<br>(コスト)  |  | 4 |                                                                                                                                                                                                                         |       |                                                                 |
|                                 |      |      | 効率性<br>(人員)   |  | 3 |                                                                                                                                                                                                                         |       |                                                                 |



## 5-3-3 心身ともに健康な市民を目指したスポーツの振興

| 事業                               | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ ( 評 価 ) |   | 今後の方向 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------------------------|------|------|---------------|---|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| マリンスポーツフェスタの開催<br>(社会教育課)        | 2    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 4 | ①継続   | <p>牧之原市と共催で事業を実施することができた。<br/>来場者数は350人(御前崎市25%牧之原市28%その他47%)<br/>市民だけでなく市外の方に対しても、御前崎の海の良さを再認識してもらうとともに、地域の特性を生かした海洋スポーツを楽しむ機会を提供することができた。しかし、海の上では混雑時の危険を伴う場面もあることから、改善が必要であり見直しを検討する。</p> <p>マリナ利用者との駐車トラブルを避けるため、駐車場スペースの確保及び関係者への事前周知の徹底が必要である。<br/>また、これ以上の参加人数はキャパオーバーであり、有料とするなど見直しを検討していく。</p> |
|                                  |      |      | 効果性           | 4 |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                                  |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 4 |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                                  |      |      | 効率性<br>(人員)   | 4 |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 御前崎市振興公社との連携によるスポーツ振興<br>(社会教育課) | 14   | 70%  | 事業の<br>妥当性    | 5 | ①継続   | <p>振興公社における、体操やプール、テニス教室など、社会教育施設を活用したさまざまなスポーツ教室の実施により、年間を通して、市民にスポーツ振興と健康増進に繋がる機会を提供することができている。</p> <p>今後も振興公社と連携することで、スポーツを通して健康増進と生きがいづくりに繋がるように取り組んでいく。<br/>また、部活動の地域移行を視野に入れたスポーツを検討していく。</p>                                                                                                     |
|                                  |      |      | 効果性           | 4 |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                                  |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 4 |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                                  |      |      | 効率性<br>(人員)   | 4 |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 軽スポーツ教室・大会の開催<br>(社会教育課)         | 14   | 70%  | 事業の<br>妥当性    | 4 | ①継続   | <p>各種大会・教室は、スポーツ推進委員に主体的に開催していただいております。和やかな雰囲気の中で市民の健康増進にも繋がる事業として多くの市民が参加してくれている。<br/>また、新たな試みとして、「ワンバウンド・ふらば〜るボールバレー」と「バウンスボール」教室を開催し、普段運動しない市民も気軽に参加できる機会を提供することができた。</p> <p>固定の参加者も多いため、より多くの世代が参加できるように新たな種目にも着目し、より多くの市民の運動の機会の増進に寄与していく。</p>                                                     |
|                                  |      |      | 効果性           | 4 |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                                  |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 4 |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                                  |      |      | 効率性<br>(人員)   | 3 |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

※ふらばー 大・小2種類の大きさの三角のビニールを4枚貼り合わせた、球でも楕円でもない不思議な形のおもしろボール

※バウンスボール 3人1組を基本として、柔らかい専用のボールをバウンドさせながら手のひらで打ち合うスポーツ

|                          |    |     |              |   |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------|----|-----|--------------|---|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 静岡県市町対抗駅伝への参加<br>(社会教育課) | 14 | 80% | 事業の<br>妥当性   | 4 | ①継続 | <p>「目指せ10位入賞、御前崎を一つに」を目標(合言葉)に昨年の大会後より練習に取り組んでいる。<br/>監督やコーチは、長期目線で選手育成に取り組んでおり、明るい雰囲気の中で子どもから大人まで和気あいあいと練習に取り組むことができている。<br/>本年度はCATVの協力により年間を通して市民に練習風景を放映することができ、市民の陸上への関心も高めることができた。</p> <p>大橋昌弘新監督のコーチ時代からの練習も定着し、選手育成・強化が出来ているため、引き続き年間を通じ練習を継続していく。<br/>なお、各部門の女子選手不足が課題であり、楽しく運動する機会を提供し、競技人口を増やすべく積極的に広報活動を行っていく。</p> |
|                          |    |     | 効果性          | 4 |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                          |    |     | 効率性<br>(コスト) | 4 |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                          |    |     | 効率性<br>(人員)  | 4 |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

| 事業                     | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ （ 評 価 ） |   |                                                                                                                                                                                     | 今後の方向 |                                                                                               |
|------------------------|------|------|---------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 県立池新田高校との連携<br>(社会教育課) | 2    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 4 | 池新田高校の魅力として新設された、地域特性を活かしたスポーツコースの生徒に対し、マリンスポーツの講師を派遣した。<br>海洋スポーツの体験を通じて、御前崎の海の良さを知ってもらうとともに、将来の職業や定住について考えるきっかけづくりを行うことができた。<br>本年度は2つの学年で18人の生徒に対し、ウインドサーフィンとSUP等を体験してもらうことができた。 | ①継続   | 引き続き、海洋スポーツの普及と、地元高校の魅力発信や生徒の郷土愛醸成を図るため事業を継続していく。<br>なお、講師の確保が課題であり、県立池新田高校の独自運営ができるよう検討していく。 |
|                        |      |      | 効果性           | 4 |                                                                                                                                                                                     |       |                                                                                               |
|                        |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 3 |                                                                                                                                                                                     |       |                                                                                               |
|                        |      |      | 効率性<br>(人員)   | 3 |                                                                                                                                                                                     |       |                                                                                               |
|                        |      |      |               |   |                                                                                                                                                                                     |       |                                                                                               |

## 5-3-4 文化・芸術の継承と振興及び文化財の保護と活用

| 事業                                        | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ ( 評 価 ) |   | 今後の方向 |                                                                                                                        |
|-------------------------------------------|------|------|---------------|---|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 文化・芸術に触れる機会の提供<br>(社会教育課)                 | 14   | 80%  | 事業の<br>妥当性    | 4 | ①継続   | 文化・芸術に触れる機会の提供については、市民の芸術文化意識の向上に資するため今後も関係団体と連携し、市民ニーズにあった事業を推進していく。<br>文化施設については、公共施設マネジメントに基づき、適正管理に努め積極的な活用を図っていく。 |
|                                           |      |      | 効果性           | 4 |       |                                                                                                                        |
|                                           |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 4 |       |                                                                                                                        |
|                                           |      |      | 効率性<br>(人員)   | 3 |       |                                                                                                                        |
| 【再掲】<br>図書館での展示<br>や講演会など文化事業の開催<br>(図書館) |      |      |               |   |       |                                                                                                                        |
| 市文化祭の開催<br>(社会教育課)                        | 14   | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | ①継続   | 形式的な事業開催を見直すとともに、市内関係団体とのコラボレーションを検討しながら、市文化協会と協働を図る。                                                                  |
|                                           |      |      | 効果性           | 5 |       |                                                                                                                        |
|                                           |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 4 |       |                                                                                                                        |
|                                           |      |      | 効率性<br>(人員)   | 4 |       |                                                                                                                        |
| 「文芸おまえざき<br>第21号」の発刊<br>(社会教育課)           | —    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 4 | ①継続   | 引き続き市民の創作発表の場づくりを進める。<br>また、投稿者の高齢化及び固定化を防ぐために、新規投稿者獲得に向けた具体的な手立てを講じていく。                                               |
|                                           |      |      | 効果性           | 3 |       |                                                                                                                        |
|                                           |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 3 |       |                                                                                                                        |
|                                           |      |      | 効率性<br>(人員)   | 3 |       |                                                                                                                        |
| 御前崎市振興<br>公社との連携による文化振興<br>(社会教育課)        | 14   | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | ①継続   | 引き続き、振興公社と連携して、市内の文化芸術意識の向上に資するように市民ニーズを踏まえた事業実施のサポートを行う。                                                              |
|                                           |      |      | 効果性           | 4 |       |                                                                                                                        |
|                                           |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 4 |       |                                                                                                                        |
|                                           |      |      | 効率性<br>(人員)   | 3 |       |                                                                                                                        |

| 事業                              | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ ( 評 価 ) |   | 今後の方向 |                                                                                                                           |
|---------------------------------|------|------|---------------|---|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市民会館等の整備・改修<br>(社会教育課)          | —    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 5 | ①継続   | 中長期保存計画をもとに長期にわたり安心安全に施設利用できるように維持管理に関する方針及び適切な修繕工事施工を検討する。                                                               |
|                                 |      |      | 効果性           | 5 |       |                                                                                                                           |
|                                 |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 4 |       |                                                                                                                           |
|                                 |      |      | 効率性<br>(人員)   | 3 |       |                                                                                                                           |
| 文化財等の整理・保存事業<br>(社会教育課)         | —    | 70%  | 事業の<br>妥当性    | 4 | ③拡大   | 古文書や古写真等の史料整理は、会計年度任用職員が継続して整理を進める。<br>文化財整理室の移転作業や新たな文化財整理室の整理や保存事業を行う。                                                  |
|                                 |      |      | 効果性           | 4 |       |                                                                                                                           |
|                                 |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 3 |       |                                                                                                                           |
|                                 |      |      | 効率性<br>(人員)   | 3 |       |                                                                                                                           |
| 文化財による郷土の誇りを育てる事業の実施<br>(社会教育課) | —    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 4 | ①継続   | 市民を対象として郷土の出土文化財等を活用した文化財出張授業を行うことで、郷土の歴史や文化財に興味を持ってもらえるように努める。<br>また、市内の塩の道・秋葉街道がしずおか遺産「秋葉信仰と街道」に追加認定されたことから、関連事業を行っていく。 |
|                                 |      |      | 効果性           | 4 |       |                                                                                                                           |
|                                 |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 4 |       |                                                                                                                           |
|                                 |      |      | 効率性<br>(人員)   | 4 |       |                                                                                                                           |
| 指定文化財への標識等の設置<br>(社会教育課)        | —    | 100% | 事業の<br>妥当性    | 4 | ②完了   | 国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」への標識等の設置は完了した。今後は、新たに保存活用計画作成に向けて検討する。                                                                  |
|                                 |      |      | 効果性           | 4 |       |                                                                                                                           |
|                                 |      |      | 効率性<br>(コスト)  | 3 |       |                                                                                                                           |
|                                 |      |      | 効率性<br>(人員)   | 4 |       |                                                                                                                           |

| 事業                                                           | 重点取組 | 執行度  | 点 検 ・ （ 評 価 ）                                                                                                                                                          |            | 今後の方向 |     |   |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |                                                                                   |
|--------------------------------------------------------------|------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|-----|---|--------------|---|-------------|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 「文化財年報」の<br>作成<br>(社会教育課)                                    | —    | 100% | <table><tr><td>事業の<br/>妥当性</td><td>4</td></tr><tr><td>効果性</td><td>4</td></tr><tr><td>効率性<br/>(コスト)</td><td>5</td></tr><tr><td>効率性<br/>(人員)</td><td>4</td></tr></table> | 事業の<br>妥当性 | 4     | 効果性 | 4 | 効率性<br>(コスト) | 5 | 効率性<br>(人員) | 4 | 本年度実施した文化財事業内容を<br>まとめ、記録保存を図るとともに、御前<br>崎市のホームページに掲載してデジ<br>タル配信を行い、活用を図った。                                                                                                                                                                                    | ①継続 | 文化財保護事業の実<br>施状況、文化を後世に<br>伝えるため引き続き文<br>化財年報を作成してい<br>く。                         |
| 事業の<br>妥当性                                                   | 4    |      |                                                                                                                                                                        |            |       |     |   |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |                                                                                   |
| 効果性                                                          | 4    |      |                                                                                                                                                                        |            |       |     |   |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |                                                                                   |
| 効率性<br>(コスト)                                                 | 5    |      |                                                                                                                                                                        |            |       |     |   |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |                                                                                   |
| 効率性<br>(人員)                                                  | 4    |      |                                                                                                                                                                        |            |       |     |   |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |                                                                                   |
| ウミガメの保護活<br>動の実施<br>(社会教育課)                                  | —    | 100% | <table><tr><td>事業の<br/>妥当性</td><td>4</td></tr><tr><td>効果性</td><td>4</td></tr><tr><td>効率性<br/>(コスト)</td><td>3</td></tr><tr><td>効率性<br/>(人員)</td><td>3</td></tr></table> | 事業の<br>妥当性 | 4     | 効果性 | 4 | 効率性<br>(コスト) | 3 | 効率性<br>(人員) | 3 | 市内海岸においてウミガメの上陸・<br>産卵頭数の減少が見られ、ふ化個<br>体・ふ化率も減少傾向にある。一方<br>で、適正な保護実施に向けて専門家<br>の知見による保護活動の再考及び業<br>務のマニュアル化を行うことができた。<br>また、通年実施している海岸環境の保<br>全に向けた流木集積処理や漂着物の<br>回収ボックスの設置を行い、持続可能<br>な環境整備に努めることができた。<br><br>上陸頭数:80頭<br>産卵個数:31頭<br>産卵個数:3711個<br>ふ化頭数:1576頭 | ①継続 | 海岸の環境保全のため、関係団体との情報<br>共有、連携を図っていく。またふ化率の向上を<br>目的に、専門的な知見<br>を踏まえた天然ふ化を<br>実施する。 |
| 事業の<br>妥当性                                                   | 4    |      |                                                                                                                                                                        |            |       |     |   |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |                                                                                   |
| 効果性                                                          | 4    |      |                                                                                                                                                                        |            |       |     |   |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |                                                                                   |
| 効率性<br>(コスト)                                                 | 3    |      |                                                                                                                                                                        |            |       |     |   |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |                                                                                   |
| 効率性<br>(人員)                                                  | 3    |      |                                                                                                                                                                        |            |       |     |   |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |                                                                                   |
| 「御前埼灯台」<br>150周年記念講<br>演会の開催<br>(社会教育課)<br><br>※前年度の掲載<br>なし | —    | 100% | <table><tr><td>事業の<br/>妥当性</td><td>5</td></tr><tr><td>効果性</td><td>4</td></tr><tr><td>効率性<br/>(コスト)</td><td>4</td></tr><tr><td>効率性<br/>(人員)</td><td>4</td></tr></table> | 事業の<br>妥当性 | 5     | 効果性 | 4 | 効率性<br>(コスト) | 4 | 効率性<br>(人員) | 4 | 「御前埼灯台」150周年記念として記<br>念講演会を開催し、45名の参加者が<br>あった。また、(公社)灯光会や清水海<br>上保安部の協力を得て御前埼灯台の<br>普段見られない灯ろう部分の特別見<br>学会を開催し、32名の参加者があっ<br>た。また、灯光会主催の灯台絵画コン<br>クールで申し込みのあった御前埼灯<br>台の絵画30点を図書館ギャラリーで<br>展示した。                                                               | ②完了 | 御前埼灯台150周年<br>記念として開催したた<br>め、本年度のみの事業<br>として完了した。                                |
| 事業の<br>妥当性                                                   | 5    |      |                                                                                                                                                                        |            |       |     |   |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |                                                                                   |
| 効果性                                                          | 4    |      |                                                                                                                                                                        |            |       |     |   |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |                                                                                   |
| 効率性<br>(コスト)                                                 | 4    |      |                                                                                                                                                                        |            |       |     |   |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |                                                                                   |
| 効率性<br>(人員)                                                  | 4    |      |                                                                                                                                                                        |            |       |     |   |              |   |             |   |                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |                                                                                   |

## V 令和6年度教育委員会の活動

### (1) 御前崎市教育委員会委員の名簿

(令和7年3月現在)

| 役職名            | 氏 名       | 任 期                                    |
|----------------|-----------|----------------------------------------|
| 教育長            | 吉 村 紳 治 郎 | 令和5年4月1日～令和9年3月31日<br>(令和6年4月1日 再任)    |
| 委 員<br>(職務代理者) | 竹 田 和 世   | 平成29年3月1日～令和9年6月23日                    |
| 委 員            | 島 田 恵 美   | 平成30年6月24日～令和7年6月23日                   |
| 委 員            | 松 林 義 樹   | 令和2年6月24日～令和10年6月23日<br>(令和6年6月24日 再任) |
| 委 員            | 馬 渕 香 澄   | 令和6年1月1日～令和8年6月23日                     |

(2) 協議事項

| 項 目                                     | 件数 | 内 容                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること            | 1  | ○令和7年度重点取組(案)について協議した。                                                                                                                                                                               |
| (2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。 | 5  | ○御前崎市民会館設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則の制定<br>○御前崎市立学校体育施設利用条例施行規則の一部を改正する規則<br>○御前崎市学校給食費徴収取扱要綱の一部を改正する告示の制定<br>○御前崎市文化財保存事業補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定<br>○御前崎市社会教育学級及び家庭教育学級活動支援補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定<br>について審議した。 |
| (3) 県費負担教職員の懲戒及び校長の任免その他の進退について内申すること。  | 1  | ○令和7年度教職員人事異動について内申を行った。(うち、懲戒件数0)                                                                                                                                                                   |
| (4) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること。   | 1  | ○令和7年度当初予算案について具申した。                                                                                                                                                                                 |
| (5) 社会教育委員、社会教育指導員及び図書館協議会委員を委嘱すること。    | 3  | ○社会教育委員を任命・委嘱した。<br>○図書館協議会委員を任命・委嘱した                                                                                                                                                                |
| (6) 教科用図書の採択に関すること。                     | 1  | ○令和7～10年度使用の中学校教科用図書の採択について審議した。                                                                                                                                                                     |
| (7) 第26条の規定による点検及び評価に関すること。             | 1  | ○令和6年度御前崎市教育委員会の活動及び事務について点検・評価を行った。                                                                                                                                                                 |
| (8) その他                                 | 8  | ○社会教育主事の辞令<br>○家庭教育支援員の委嘱<br>○令和6年度準要保護児童生徒の認定<br>○令和7年度準要保護児童生徒の認定<br>○文化財整理室移転に伴う公有財産所管替え<br>○御前崎市教育委員会職員人事異動<br>について審議した。                                                                         |

## VI 総合評価（2024 年度）

常葉大学 堀井啓幸

### 1 「重点取組の執行度 100%」の先を見据えて

2020 年以後のコロナ禍において、2023 年 5 月の新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行を経て、2024 年度では、重点目標（15）として位置づけられていた「新型コロナウイルス感染拡大への対応」の項目がなくなり、ほぼすべての重点取組において「執行度 100%」となった。それぞれの取組における事業内容が若干異なるので単純な比較は難しいものの、各取組の執行度の平均値は、この 4 年間で、以下のように変化している。

表 重点取組の執行度（%）

| 重点取組（継続事業）                                                      | 2021<br>年度 | 2024<br>年度 |
|-----------------------------------------------------------------|------------|------------|
| 1 生活習慣（学習習慣）の定着                                                 | 87.5       | 100        |
| 2 市の特色を生かした教育や体験による愛郷心の育成                                       | 96.7       | 100        |
| 3 読書・読み聞かせの推進                                                   | 95.0       | 100        |
| 4 乳幼児の保育・教育の充実と円滑な園小接続                                          | 100        | 100        |
| 5 家庭教育支援の充実                                                     | 90         | 90         |
| * 基礎学力の向上と得意分野の伸長（2021 年度までの取組を 2022 年度から以下の 3 つの取組に分けている）      | 100        | —          |
| 6 互いの人権を尊重し、思いやりを大切にする教育への取組                                    | 75         | 100        |
| 7 探究的な学び・協働的な学びの深化（2022 年度新設）                                   | —          | 100        |
| 8 ICT 等の活用による新しい学びの展開（2021 年度は「一人一台端末の効果的な活用」）                  | 96.7       | 100        |
| 9 健康教育を通じた体力の向上と健やかな体づくり（2021 年度は「学校教育・社会教育を通じた体力の向上と健やかな体づくり」） | 100        | 100        |
| 10 特別な支援を必要とする児童生徒への教育の充実（2021 年度は「不登校・特別な支援を必要とする児童生徒への対応」）    | 100        | 95         |
| 11 部活動の地域移行の検討                                                  | —          | 100        |
| 12（園・）学校の再編についての検討                                              | 100        | 100        |
| 13 ライフステージごとの学びの提供                                              | 88.0       | 100        |
| 14 生きがいや潤いをもたらす文化・スポーツの振興                                       | 81.3       | 99         |
| 15 新型コロナウイルス感染拡大への対応                                            | 100        | —          |
| 16 教職員の働き方改革の推進                                                 | 100        | 100        |

コロナ禍における取組の難しさはあったと思われるが、自己点検・評価も、「Ⅲ重点取組」と「Ⅳ御前崎市教育委員会の自己点検・評価」との関わりが明確になり、さらに 2022 年度からは自己点検・評価に関わる課長や補佐の連絡会が開催されるようになった。御前崎市の強みと言える「スクラム御前崎」にふさわしい庁内の情報共有とそれを踏まえた重点取組、そして、証拠を踏まえた自己点検は着実に進んでいる。その一方で、「第 2 次御前崎市総合計画 2016～2025」も来年度で一区切りになることとも関わって、コロナ禍での対応も含めたこれまでの活動を振り返りつつ、これからの 10 年間を見通した将来展望をもった実践が求められていることも忘れてはならない。改めて何をもって執行度 100%といえるのか。厳しい教育財政との関わりはあるにしても、子どもや教職員、保護者を含む市民目線での執行内容の吟味と庁内でのスクラムによるさらなるパワーアップが求められよう。



## 2 地域の活力となる学びの循環へ御前崎市の今ある「強み」を全市的取組として生かす

1 で述べたように、令和 6（2024）年度においても御前崎市教育委員会は、「第 2 次御前崎市総合計画 2016～2025」及び「令和 6 年度スクラム御前崎ー郷土を愛し未来を創る人づくりー」に体系的に示された教育施策を踏まえて、着実に管理・執行していると総括される。ただ、次の 10 年間に向けて、御前崎市の今ある「強み」をもっと生かすための総括的な振り返りとそれを踏まえた中期的な施策への取組も必要になる。教育委員会における聞き取りを踏まえて、これから検討すべき課題を幾つかあげてみたい。

### ① 浜岡中学校、市立図書館、学校給食センターなどのすばらしい教育資源を生かす

令和 3 年 3 月 6 日に落成なった浜岡中学校は、建築計画委員会発足時に市長が「御前崎市は原発だけではなく、教育の御前崎としても全国から視察に来るような街にしたい」と話された言葉が印象的なシンボリックな学校であり、今日、全国から視察者も来るようになった。日本建築学会賞を受賞し、現在も市民の生涯学習の起点となっている市立図書館（アスパル）は老朽化への対応が求められるものの、読書活動の充実発展のための図書館司書を配置し、市内の学校図書館と連携して読書活動を充実させている。また、新学校給食センター（令和 3 年 9 月供用開始）においては、物価高の中での対応に苦心しながらも地産地消の一層の推進が目指されていることなど御前崎市が誇れる教育資源とそれを生かした実践は着実に進んできた。今後、これまで蓄えてきた御前崎市における様々な「強み」を教職員や子ども、保護者、地域住民に認識してもらい、どのように活用していくべきか、それぞれの部署によるさらなる情報発信と市民を巻き込んだ取組が問われよう。

### ② 子どもや保護者、地域住民の参加（昨年度の提言に関わって）

昨年度の「総合評価」において、最近の国の教育政策が重視する、「子どもの参加」、「地域のつながり」の 2 つの視点を提言した。これら 2 つの視点は、御前崎市でこれまで重視されてきた施策でもあるが、学社融合の施策を目指す中で、「スクラム御前崎」の強みを生かしてさらにレベルアップした施策が求められよう。

例えば、2023 年度は、「スクラム御前崎」の集いで子どもたちを交えたワークショップが初めて開催されたが、子どもや保護者、地域住民がそこで集う機会づくりだけで終わることなく、子どもや保護者、地域住民から出てきた意見を次年度にどのように生かしていったらいいのかをきちんと評価し、施策に反映させることがこれまで以上に求められる。特に、御前崎市にある浜岡原発との関わりを積極的にとらえて、学校だけではなく全市的な取組として防災教育やキャリア教育などに生かしていく実践も大切になる。

### ③ 「スクラム御前崎」の良さを生かした新たな「学校や地域でのつながり」づくり

国の教育振興基本計画において、「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が掲げられ、「日本社会に根差したウェルビーイング」の重要な要素として「学校や地域でのつながり」の重要性が改めて指摘されている。

「スクラム御前崎」を前面に出している御前崎市では地域と密接に結びついた教育行政に大きな特徴を持っており、その取組が注目されてきたが、全国各地でこうした取組が当たり前になる中で、今、目の前にある地域、そこで生きる子どもや保護者、地域住民をどのように把握して、対応し、子どもも含めた地域住民の幸せづくりを支援していくか。まさに「スクラム御前崎」の真価が問われている。「学校や地域でのつながり」をさらに長く長くするために、日本だけでなく世界の優れた取組のいいところを取り入れながら、学習者自身の主体性に立脚した御前崎市全体での「地域教育経営」を目指してほしい。